



B1WW-7021-01Z0(00)

Microsoft® Windows® 98

Microsoft® Windows® Me

Microsoft® Windows NT®

Microsoft® Windows® 2000

Microsoft® Windows® XP

Microsoft® Windows Server™ 2003

## NetCOBOL for Windows V8.0

# メッセージ説明書



NetCOBOL

FUJITSU



---

# まえがき

本書は、WINCOBコマンド、翻訳コマンドのメッセージ、翻訳時メッセージおよび実行時メッセージについて説明します。

## 製品の呼び名について

本書に記載されている製品の名称を、以下のように略して表記します。

- 「Microsoft(R) Windows(R) 95 operating system」  
→ 「Windows(R) 95」
- 「Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system」  
→ 「Windows(R) 98」
- 「Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition」  
→ 「Windows(R) Me」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Workstation operating system Version 4.0」  
→ 「Windows NT(R)」または、「Windows NT(R) 4.0」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system Version 4.0」  
→ 「Windows NT(R)」または、「Windows NT(R) 4.0」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system Version 4.0, Terminal Server Edition」  
→ 「Windows NT(R)」、「Windows NT(R) 4.0」または、「Windows NT(R) 4.0 T.S.E」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system, Enterprise Edition Version 4.0」  
→ 「Windows NT(R)」、「Windows NT(R) 4.0」または、「Windows NT(R) 4.0 E.E」
- 「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system」  
→ 「Windows(R) 2000」または、「Windows(R) 2000 Professional」
- 「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server operating system」  
→ 「Windows(R) 2000」または、「Windows(R) 2000 Server」
- 「Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server operating system」  
→ 「Windows(R) 2000」または、「Windows(R) 2000 Advanced Server」
- 「Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system」  
→ 「Windows(R) XP」または、「Windows(R) XP Professional」
- 「Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition operating system」  
→ 「Windows(R) XP」または、「Windows(R) XP Home Edition」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system Version 4.0」  
→ 「Windows NT(R) Server」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system Version 4.0, Terminal Server Edition」  
→ 「Windows NT(R) Server」
- 「Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network operating system, Enterprise Edition Version 4.0」  
→ 「Windows NT(R) Server」
- 「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Standard Edition」  
→ 「Windows Server(TM) 2003」
- 「Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Enterprise Edition」  
→ 「Windows Server(TM) 2003」
- 「Windows(R) 95」、「Windows(R) 98」、「Windows(R) Me」、「Windows NT(R)」、「Windows(R)

---

2000]、「Windows(R) XP」および「Windows Server(TM) 2003」  
→ 「Windows(R)」  
● 「Microsoft(R) Windows(R) operating system Version 3.1」  
→ 「Windows(R) 3.1」  
● 「Microsoft(R) Visual C++(R) development system」  
→ 「Visual C++(R)」  
● 「Microsoft(R) Visual C++(R) .NET Standard」  
→ 「Visual C++(R) .NET」  
● 「Microsoft(R) Visual Basic(R) programming system」  
→ 「Visual Basic(R)」

## 登録商標について

本書に記載されている登録商標を、以下に示します。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Visual C++、Visual Basic、ActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sunロゴ、SolarisおよびすべてのSolarisに関連する商標及びロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

HP、HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Pervasive、Pervasive Software、Pervasive SQL、Btrieve、Pervasive Softwareロゴは、米国Pervasive Software, Inc. の米国および他の国における商標または登録商標です。

Oracleは、米国Oracle Corporationの登録商標です。

INTERSTAGE、Interstageは、富士通株式会社の商標です。

その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

2005年6月

All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 1992-2005

All Rights Reserved, Copyright(C) Microsoft Corporation. 1983-1998

Portion of this program Copyright 1982-1996 Pervasive Software Inc. All Rights Reserved

---

# 目次

第1章 WINCOBおよび翻訳コマンドのメッセージ.....	1
第2章 翻訳時メッセージ.....	3
第3章 実行時メッセージ.....	5
第4章 診断機能のメッセージ.....	57
付録A システムのエラーコードの説明.....	63
付録B SCODE形式のエラーコードの説明.....	65
付録C COBOLファイルシステムのエラーコードの説明.....	69
付録D 注意事項.....	73
索引.....	75

---

---

---

## 第1章 WINCOBおよび翻訳コマンドのメッセージ

---

ここでは、WINCOBおよび翻訳コマンドが出力するメッセージの内容、システムの処理およびプログラムの処置(パラメタの意味)について説明します。なお、以降の説明で、メッセージ中の可変文字列を%sと記述します。

**' %s' はファイル名として不当です.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラムの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。

**' %s' のサブオプションが不当です.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラムの処置

正しいサブオプションを指定して、再度実行してください。

**ファイル名の指定がありません.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラムの処置

翻訳するファイルの名前を指定して、再度実行してください。

**%sというオプションはありません.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラムの処置

正しいオプションを指定して、再度実行してください。

**%sの引数が指定されていません.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

---

### プログラマの処置

オプション(%s)に正しい引数を指定して、再度実行してください。

**’ %s’ の引数が不当です.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラマの処置

オプションファイルの内容に誤りがあります。オプションファイルを正しく作成し、再度実行してください。

[参照] “NetCOBOL使用手引書”の“3.8.2.13 -i (オプションファイルの指定)”

**’ %s’ は存在しません.**

### システムの処理

翻訳処理を終了させます。

### プログラマの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。なお、%sには、ファイル名が設定されます。

**システムエラー’ %s1’ が %s2’ で発生しました**

### システムの処理

翻訳処理を異常終了させます。

### プログラマの処置

原因を調査し、それを取り除いてください。なお、%s1にはシステムのエラーコード `errno=0xXXX` (16進数表現)が、%s2にはシステムエラーが発生した処理の内容が設定されます。

**Registry is invalid. Compilation terminated.**

### システムの処理

翻訳処理を異常終了させます。

### プログラマの処置

コンパイラが正しくインストールされていることを確認してください。



## 第2章 翻訳時メッセージ

ここでは、COBOLコンパイラが出力する翻訳リスト中の診断メッセージについて説明します。  
メッセージの形式を以下に示します。

メッセージ番号 行番号 メッセージ本文

### メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMNnnnnI-S

JMN:

COBOLの翻訳時メッセージであることを示します。

nnnn:

メッセージの通し番号を示します。

I:

オペレータの対応が不要であることを示します。

S:

重大度を示すコードを表示します。重大度コードの意味を“表2-1 [翻訳時メッセージの重大度の意味](#)”に示します。

表2-1 翻訳時メッセージの重大度の意味

重大度コード	レベル	意 味	復帰コード
I (INFORMATION)	通知メッセージ	コンパイラが検出した情報です。	0
W (WARNING)	軽度のエラー	目的プログラムは作成されますが、翻訳結果が利用者の意図どおりかどうかを確認する必要があります。	
E (ERROR)	中程度のエラー	目的プログラムは作成されますが、翻訳オプションなどに誤りがあります。	1
S (SERIOUS)	重度のエラー	目的プログラムは作成されません。	2
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	翻訳を中止します。	3

### 行番号

エラーが存在する行番号を表示します。翻訳リストに出力されたメッセージの場合、同一内容のメッセージは1つにまとめて表示されるため、行番号は複数個表示されることがあります。

### メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

---

## 第3章 実行時メッセージ

ここでは、COBOLランタイムシステムが出力するメッセージについて説明します。

メッセージの形式を以下に示します。

日付と時刻   メッセージ番号 [プロセスID スレッドID]   メッセージ本文

### 日付と時刻

日付と時刻は次のように表示されます。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS (西暦-月-日 時:分:秒)

表示される時間はローカル時間（日本の場合、GMT+9時間）です。

### メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMPnnnnI-W

**JMP:**

COBOLの実行時メッセージであることを示します。

**nnnn:**

メッセージの通し番号を示します。

**I:**

オペレータの応答の必要性を示す以下の文字を表示します。

I…オペレータの応答が不要であることを示します。

A…オペレータの応答が必要であることを示します。

**W:**

重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味および復帰コードとの関係を“表3-1 [実行時メッセージの重大度コードの意味と復帰コードへの影響](#)”に示します。

また、バッチファイルからCOBOLプログラムを直接実行する場合、COBOLプログラムの復帰コード (PROGRAM-STATUS) は、そのバッチファイル中のCOBOLプログラム実行直後のERRORLEVELに反映されます。なお、ERRORLEVELの使用方法については、各システムのマニュアルまたはオンラインヘルプなどを参照してください。

表3-1 実行時メッセージの重大度コードの意味と復帰コードへの影響

重大度コード	レベル	意 味	復帰コードへの影響
I (INFORMATION)	通知メッセージ	ランタイムシステムが検出した情報です。プログラムの実行に支障はありません。	なし
W (WARNING)	軽度のエラー	プログラムの実行に支障はありません。ただし、実行結果が利用者の意図どおりかを確認する必要があります。	なし
E (ERROR)	中程度のエラー	エラーが存在しますが、適当な仮定に従って処理を続行します。	あり (注1)

U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	プログラムの実行を中断し、終了処理を行います。	あり（注2）
-------------------	---------	-------------------------	--------

**注1**

Eレベルのメッセージが出力された場合、COBOL実行単位の終了時に復帰コードが設定されます。このときEレベルのメッセージは復帰コード12と評価され、特殊レジスタ PROGRAM-STATUSの値と比較して大きい方が、復帰コードとして設定されます。

**注2**

Uレベルのメッセージが出力された場合、プログラムは異常終了します。このとき、復帰コードとして255が設定されます。また、COBOLプログラムの強制終了を行った場合も、復帰コードとして255が設定されます。

**プロセスID、スレッドID**

エラーの検出されたプログラムのプロセスIDおよびスレッドIDを以下の形式で設定します。

```
[PID:mmmmmmmm TID:nnnnnnnn]
```

mmmmmmmm : エラーを検出したアプリケーションのプロセスID

nnnnnnnn : エラーを検出したアプリケーションのスレッドID

**メッセージ本文**

エラーの内容を説明します。

以降では、実行時メッセージの本文の内容、システムの処理、意味およびプログラムの処置を以下の形式で説明します。

**メッセージ番号**

メッセージ本文<sup>(注)</sup>

**システムの処理**

システムまたはランタイムシステムの処理

**補足**

メッセージ本文の意味

**プログラムの処置**

プログラマが行うべき対処方法

**注**

メッセージ本文中の“\$n”は、可変情報を示すパラメタです。実際に出力されるメッセージでは、このパラメタの部分は、プログラム名やファイル名などを表す文字列で置き換えられます。

また、以降の説明で、メッセージ本文の可変情報を示すパラメタに設定されるアクセス名またはファイル名とは、以下に示す情報のことです。

**アクセス名**

アクセス名は、プログラムとファイルの実体を結びつける名前であり、実行時にファイルの実体の名前を設定した環境変数情報名に対応します。アクセス名は、ASSIGN句にファイル識別名を記述した場合のファイル識別名に対応します。

**ファイル名**

ファイル名は、ファイルの実体の名前です。ファイル名は、ASSIGN句にファイル識別名定数を記述した場合、ファイル識別名定数に対応し、ASSIGN句にデータ名を記述した場合、データ名の内容に対応します(ただし、データ名の内容が認識不可能な場合、“?”を表示します)。また、ASSIGN句に“DISK”または“PRINTER”を記述した場合、SELECT句に記述されたファイル名に対応します。なお、SELECT句を記述したファイル名は、メッセージ本文中では括弧で囲んで表示されます。

---

## エラーアドレス

メッセージ本文の可変情報を示すパラメタに設定されるエラーアドレスとは、エラーの検出されたプログラムとエラーの検出箇所の情報のことです。

エラーアドレスは、以下の形式で表示されます。

### プログラム定義で検出された場合

---

PGM=外部プログラム名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

---

nnnnnnnn : エラーを検出したアプリケーションのアドレス

### メソッド定義で検出された場合

---

CLASS=メソッドが定義されているクラス名 METHOD=メソッド名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

---

nnnnnnnn : エラーを検出したアプリケーションのアドレス

COPY修飾値および行番号の形式については、“NetCOBOL 使用手引書”の“3.2.2.4 ソースプログラムリスト”を参照してください。

## JMP0001I-U

’\$1’ ファイルのオープンに失敗しました。\$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、以下の点を確認してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

- アクセス名(\$1)が正しく割り当てられていること
- アクセス名(\$1)に割り当てたファイルが排他状態にないこと
- アクセス名(\$1)に割り当てたファイルの表現形式(シフトJIS、UCS-2)が、動作中のコード系と同じであること

## JMP0002I-U

プログラム’\$1’は、再帰的に呼び出されました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### 補足

プログラム(\$1)は、以前に呼び出されたことがあります。そのプログラムの実行の終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

### プログラマの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

## JMP0004I-U

USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後の文が実行されました。\$1

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

STOP RUN文、EXIT PROGRAM文、GO TO文などを使用して、USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後に到達しないようにしてください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0007I-W

誤った実行時オプション' \$1' が指定されました。

### システムの処理

その実行時オプション(\$1)を無視して処理を続行します。ただし、指定された実行時オプション(\$1)がSWITCHの場合、指定された数値部の数値が8桁より小さい場合は左詰めに数値を設定し、8桁より大きい場合は上位8桁の数値を設定し、実行時オプションSWITCHを有効とします。

### プログラマの処置

正しい実行時オプションを指定して、再度実行してください。

### JMP0009I-U

ライブラリ作業域が確保できません。' \$1'

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$1に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、仮想メモリ不足の原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。[参考] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

### JMP0010I-U

ライブラリ作業域が破壊されています。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

以下の項目についてプログラムを確認してください。

- 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(CHECKオプションを指定することにより確認可能)。
- CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているか(特に長さ)。
- ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長でなく最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

### JMP0012I-U

プログラム' \$1' 中の内部プログラムが、再帰的に呼び出されました。 \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### 補足

外部プログラム(\$1)に含まれる内部プログラムは、以前に呼び出されたことがあります。そのプログラムの実行の終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

---

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### プログラマの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

## JMP0015I-U

プログラム' \$1' を呼び出すのに失敗しました。\$2。\$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、プログラムのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “5.4.2 副プログラムのエントリ情報”、 “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、 “Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

呼出し先のDLL内の関数の呼出しに失敗した場合は、DLL内の関数名が外部から参照可能かどうかを調べてください。調べるためには、DUMPBINコマンドが使用できます。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “J.1 DUMPBINコマンド”

## JMP0016I-U

ファイル' \$1' の読み込みまたは書き込みに失敗しました。\$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

アクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて以下の点を確認してください。

- ファイルの最大サイズ
- ディスクの空き容量

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0018I-U

ファイル' \$1' のクローズに失敗しました。\$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

アクセス名(\$1)に割り当てたファイルを確認してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0019I-U

EXTERNAL指定のデータ' \$1' の属性が矛盾しています。' \$2' , ' \$3' .

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

エラーが検出されたプログラム(\$2)および最初にEXTERNALデータ(\$1)を定義したプログラム(\$3)で、\$1の定義が矛盾していないかまたは翻訳オプションRCSの内容が一致しているか確認し

てください。

## JMP00201-U

プログラム' \$1' のエントリ情報に誤りがあります。 \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

実行用の初期化ファイルまたは環境変数情報@CBR\_ENTRYFILEに指定されているエントリ情報ファイルに、呼ばれるプログラム(\$1)のDLL名、プログラム名および二次入口点名の対応関係が正しく定義されているか確認してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

[参照] “NetCOBOL使用手引書”の“5.4.2 副プログラムのエントリ情報”

## JMP00221-U

EXTERNAL指定のファイル' \$1' の属性が矛盾しています。' \$2' , ' \$3' . ' \$4' .

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

エラーが検出されたプログラム(\$2)および最初にEXTERNALファイル(\$1)を定義したプログラム(\$3)で、\$1の定義が矛盾していないか確認してください。なお、\$1には通常ファイル名が設定されますが、ファイル名が設定できない場合は、ソースプログラムに出現したファイル定義の番号が設定されます。\$4に設定される文字列を“表3-2 [JMP00221-Uの\\$4の内容](#)”に示します。

表3-2 JMP00221-Uの\$4の内容

#### [ファイル編成共通]

エラー文字列	エラーの内容
ACCESS-MODE	アクセスモード
ACCESS-NAME	アクセス名
FILE-ORG	ファイル編成
LOCK-MODE	LOCK MODE 句の指定
MAXRL	最大レコード長
MINRL	最小レコード長
OPTIONAL	OPTIONAL句指定の有無
RCS	翻訳オプションRCSの内容
REC-MODE	レコード形式

#### [行順ファイル]

エラー文字列	エラーの内容
REC-ATR	レコード項目属性

#### [相対／索引ファイル]

エラー文字列	エラーの内容
ALT-KEY	副レコードキーの個数
KEY-ATR	キー項目の属性
KEY-DISP	キー項目のレコード内変位



KEY-DUPL	DUPLICATES句の指定の有無
KEY-LEN	キー長
REL-ATR	RELATIVE KEY項目の属性
REL-COL	RELATIVE KEY項目桁数
REL-KEY	RELATIVE KEY句の指定の有無
REL-LEN	RELATIVE KEY項目長
REL-NAME	RELATIVE KEY項目の名前

[印刷ファイル]

エラー文字列	エラーの内容
ADVANCING	ADVANCING 指定のWRITE 文の有無
CHAR-TYPE	CHARACTER TYPE句の書き方 3 の指定の有無
CODE	CODE-SET句の指定の有無
CTLCHR	制御文字用領域の属性
LINAGE	LINAGE句の有無
LNG-ATR	LINAGEデータ項目の属性および桁数
LNG1-INTEG	LINAGEデータ項目 1 の整数値
LNG1-NAME	LINAGEデータ項目 1 の名前
LNG2-INTEG	LINAGEデータ項目 2 の整数値
LNG2-NAME	LINAGEデータ項目 2 の名前
LNG3-INTEG	LINAGEデータ項目 3 の整数値
LNG3-NAME	LINAGEデータ項目 3 の名前
LNG4-INTEG	LINAGEデータ項目 4 の整数値
LNG4-NAME	LINAGEデータ項目 4 の名前
REC-LEN	レコード長

[表示ファイル]

エラー文字列	エラーの内容
DESTINATION	SYMBOLIC DESTINATION句の内容
DESTINATION1	DESTINATION-1句指定の有無
DESTINATION2	DESTINATION-2句指定の有無
DESTINATION3	DESTINATION-3句指定の有無
DEST-CNTL	DESTINATION CONTROL 句指定の有無またはデータ項目長
END-KEY	END KEY句指定の有無
FMT-CNTL	FORMAT CONTROL句指定の有無
FMT-CNTL1	FORMAT CONTROL句データ項目 1 の長さ
FMT-CNTL2	FORMAT CONTROL句データ項目 2 の長さ
FORMAT	FORMAT句指定の有無
GROUP	GROUP句指定の有無
MSG-CLASS	MESSAGE CLASS句指定の有無
MSG-CODE	MESSAGE CODE句指定の有無またはデータ項目長
MSG-MODE	MESSAGE MODE句指定の有無
MSG-OWNER	MESSAGE OWNER句指定の有無
PROC-CNTL	PROCESSING CONTROL句指定の有無またはデータ項目長
PROC-MODE	PROCESSING MODE句指定の有無
PROC-TIME	PROCESSING TIME句指定の有無

SEL-FUNC	SELECTED FUNCTION句指定の有無
SESS-CNTL	SESSION CONTROL句指定の有無
SYMBOLIC-DEST	SYMBOLIC DESTINATION句の指定
UNIT-CNTL	UNIT CONTROL句指定の有無またはデータ項目長

## JMP0024I-U

デッドロック出口が見つかりませんでした。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

デッドロック事象の発生によりデッドロック出口スケジュールを実行しましたが、デッドロック事象が発生したプログラムまたは発生したプログラムをCALL文で呼び出している上位のプログラムにデッドロック出口が見つかりませんでした。USE FOR DEAD-LOCK文でデッドロック出口を登録しているか確認してください。

## JMP0026I-W

\$1指定の\$2文で例外が発生しましたが、対応するON EXCEPTION句がありません。

### システムの処理

処理を続行します。

### プログラマの処置

\$1の機能名 (ARGUMENT-VALUE または ENVIRONMENT-VALUE) に対応する \$2 の文 (ACCEPT 文または DISPLAY 文) に、ON EXCEPTION 句を記述して例外発生に対応してください。

## JMP0031I-U

シングルスレッドモードで複数のスレッドで実行されました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

マルチスレッドでプログラムを実行する場合は、サーバ製品がインストールされている必要があります。サーバ製品がインストールされているか確認して下さい。

サーバ製品がインストールされている場合は、以下の原因が考えられます。エラーの原因を取り除き、再度実行してください。

- プログラムが翻訳オプションTHREAD (MULTI) を指定して翻訳されていない。
- 環境変数情報@CBR\_THREAD\_MODE=SINGLEが指定されている。

## JMP0032I-U

プログラム' \$1' を実行することはできません。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

1. 翻訳オプションTHREADをMULTI指定で翻訳したプログラム\$1が暗黙的にメモリから削除された可能性があります。原因として以下が考えられます。暗黙的にメモリから削除されないように動的プログラム構造にするか、CANCEL文を使用して明示的にメモリから削除する

ようにプログラムを修正して、再度実行してください。

- プログラム\$1がCANCEL文によってメモリから削除されたプログラムに静的リンクまたは動的リンクされているため、プログラム\$1が暗黙的にメモリから削除されている。
  - システム関数によって、プログラム\$1がメモリから削除されている。
2. 実行単位内に同じプログラム名を持つ複数のプログラムが存在しています。原因として以下が考えられます。エラーの原因を取り除き、再度実行してください。
- 実行単位に同じプログラム名を持つ、内容の異なるプログラムが存在する。この場合、実行単位内でプログラム名が重ならないようにプログラム名を修正してください。
  - 同一プログラムが複数のDLLに静的リンクされている。共用するプログラムの結合形式を動的リンクに変更してください。

## JMP0034I-U

スレッドの同期処理に失敗しました。 ’ \$1’ . \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定された文字列の意味と処置を“表3-3 [JMP0034I-Uの\\$1の内容](#)”に示します。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-3 JMP0034I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。

## JMP0035I-U

マルチスレッドモードでシングルスレッドプログラムが実行されました。 ’ \$1’ .

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

マルチスレッドモードで動作している場合、シングルスレッド動作用のプログラム(\$1)を実行することはできません。翻訳オプションTHREAD(SINGLE)指定で翻訳したプログラムまたはマルチスレッドを未サポートのCOBOL製品で翻訳したプログラムが混在していないか確認し、再度実行してください。

## JMP0036I-U

当システムでは翻訳オプション’ \$1’ が指定されたプログラムを実行することはできません。\$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$1に設定された翻訳オプションが指定されたプログラム(\$2)の動作可能システムを確認し、動作可能なシステム上で再度実行してください。

### JMP0070I-I

プログラムの動作情報です. RTS-VL=' \$1' THREAD-MODE=' \$2' INIT-FILE=' \$3' SECTION=' \$4'

### システムの処理

プログラムの処理を続行します。

### プログラマの処置

環境変数情報@CBR\_CBRINFO=YESが指定されたとき、動作中のプログラムの情報が出力されます。出力された情報から動作中のランタイムシステムのバージョンレベル(\$1)、スレッドモード(\$2)および実行用の初期化ファイル(\$3)を確認してください。実行用の初期化ファイルのセクションが有効になっている場合は、セクション名(\$4)が出力されます。また、実行用の初期化ファイルを使用していない場合は、\$3には実行用の初期化ファイルを検索したフォルダを示す文字列'NONE (EXE:フォルダ名 DLL:フォルダ名) ' が設定されます。

実行用の初期化ファイルの使用方法については、“NetCOBOL 使用手引書”の“5.3.2.3 実行用の初期化ファイルに設定する方法”を参照してください。

### JMP0071I-U

領域破壊を検出しました. \$1 \$2 BRKADR=0x\$3.

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

ランタイムシステムの領域が何らかの原因で破壊されています。“NetCOBOL使用手引書”の“18.5 メモリチェック機能の使い方”を参照して、原因を調査してください。

なお、\$1には領域破壊を検出した箇所(プログラムまたはメソッドの手続き部の開始の場合はSTART、プログラムまたはメソッドの手続き部の終了の場合はEND)が、\$2には領域破壊を検出したプログラム名またはメソッド名が設定されます。\$3には破壊された領域のアドレスが設定されます。

### JMP0072I-U

機能制限のため、強制終了します. ' \$1' \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

現在使用している製品で制限となる機能を使用しました。\$1の情報をもとに、環境を見直してください。\$1に設定される文字列の意味と処置を“表3-4 [JMP0072I-Uの\\$1の内容](#)”に示します。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-4 JMP0072I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
PRODUCT-MISSMATCH	ランタイム製品と開発環境のレベルが一致しません。	機能制限があるコンパイラで作成したCOBOLプログラムを動作させました。機能制限があるコンパイラで作成したCOBOLプログラムは、機能制限があるランタイムシステムで動作させてください。
MULTI-THREADING	当ランタイム製品ではマルチスレッドの複数動作はできません。	当ランタイムシステムでは、複数スレッドでCOBOLプログラムを同時実行させることはできません。複数スレッドでCOBOLプログラムを同時実行させる場合は、機能制限なしのランタイムシステムを使用してください。

## JMP0081I-U

実行環境内に異なるコード系のプログラムが存在します. ' \$1 '

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

プログラム(\$1)の動作コード系を確認し、実行環境内で動作するプログラムのコード系を統一してください。

## JMP0085I-U

環境変数' \$1 ' の登録に失敗しました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

環境変数(\$1)が登録できませんでした。該当プログラムが使用する環境変数情報の記述の総和が16Kバイト以内になるように実行用の初期化ファイルを修正し、再度実行してください。

## JMP0086I-E/U

文字コードの変換に失敗しました. \$1 \$2

### システムの処理

重大度コードがEの場合、変換に失敗した文字を“\_”に代替し、処理を続行します。  
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

COBOLプログラム中で、シフトJIS範囲外の文字の使用が保証されていない箇所ではシフトJIS範囲外の文字が使用されました。\$1に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。[参照] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

### JMP0089I-W

コンピュータ' \$1' へのイベントログ出力に失敗しました。' MSGN0=\$2'

#### システムの処理

自コンピュータにイベントログを出力し、処理を続行します。

#### プログラマの処置

環境変数情報@CBR\_MESSAGEに指定したイベントログ出力先コンピュータ名を確認し、再度実行してください。

- コンピュータ名の指定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、正しいコンピュータ名を指定してください。
- 指定したコンピュータがアクティブになっているか確認し、アクティブになっていない場合は、電源を入れてください。
- 指定したコンピュータの起動OSがWindows NT(R)、Windows(R) 2000、Windows(R) XPまたはWindows Server(TM) 2003か確認してください。イベントログ出力機能を持たないOSには出力できません。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “5. 4. 1. 13 @CBR\_MESSAGE (実行時メッセージの出力先の指定)”

### JMP0092I-U

ウィンドウクラス' \$1' の登録に失敗しました。\$2 \$3

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

仮想メモリ不足またはデスクトップヒープの枯渇が原因と考えられます。仮想メモリ不足の原因および対処については、“付録D 注意事項” の “COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合” を参照し、対処後、再度実行してください。デスクトップヒープの枯渇の原因および対処については、マイクロソフトのホームページを参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$2には詳細エラーコード、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0093I-U

ウィンドウクラス' \$1' の作成に失敗しました。\$2 \$3

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

仮想メモリ不足またはデスクトップヒープの枯渇が原因と考えられます。仮想メモリ不足の原因および対処については、“付録D 注意事項” の “COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合” を参照し、対処後、再度実行してください。デスクトップヒープの枯渇の原因および対処については、マイクロソフトのホームページを参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$2には詳細エラーコード、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0096I-U

指定された実行用の初期化ファイルのパス名に誤りがあります。

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

指定した実行用の初期化ファイルのパス名が正しいか確認してください。

---

## JMP0097I-U

ランタイムシステムが正しくインストールされていません。\$1

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

- \$1ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。
- ランタイムシステムが正しくインストールされていることを確認してください。または、環境変数PATHにインストールフォルダが正しく設定されているか確認してください。

## JMP0099I-U

コード' \$1' で強制終了します。

### システムの処理

プログラムの終了処理を行います。

### プログラマの処置

直前にUレベルのメッセージが出力されている場合は、そのメッセージの対処方法にしたがってください。

直前にUレベルのメッセージが出力されていない場合は、以下の項目についてプログラムを確認してください。

- 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(CHECKオプションを指定することにより確認可能)。
- CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているか(特に長さ)。
- ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長で処理するところを最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

上記事項に該当しない場合は、内部障害の可能性があるので、技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1にはランタイムシステムの内部コードが設定されます。

## JMP0101I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、クラス' \$2' の' \$1' を生成できません。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

クラス(\$2)のファクトリオブジェクトまたはオブジェクトインスタンス(\$1)を生成できる環境にするため、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”の対処方法または以下の対処を行い、再度実行してください。

- 環境変数情報@CBR\_InstanceBlock=USE(実行性能優先)の場合、環境変数情報@CBR\_ClassInfFileに指定されているクラス情報ファイルに定義されているクラス(\$2)のインスタンス格納数(初期数または増分数)を小さくしてください。  
[参照] “NetCOBOL 使用手引書”の“17.3.4.1.2 @CBR\_InstanceBlock (オブジェクトインスタンスの獲得方法の指定)”、“17.3.4.1.1 @CBR\_ClassInfFile (クラス情報ファイルの指定)”
- 環境変数情報@CBR\_InstanceBlock=UNUSE(メモリ優先)を指定してください。

## JMP0102I-U

クラス' \$1' が使用できません. \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

クラスの初期化で使用したクラスが使用可能になるようにプログラムまたは動作環境を修正し、再度実行してください。

クラスが使用できない原因として、以下のことが考えられます。

[参照] “NetCOBOL 使用手引書” の “10. 1. 5. 3 注意事項”、 “16. 4. 2. 2 プログラム構造の概要” の注意事項

- CANCEL文などにより、暗黙的にクラスがメモリから削除されました。
- COBOLの実行単位中に、同一のクラスのオブジェクトファイルを含む実行可能ファイル (DLLを含む) が複数存在しています。
- COBOLの実行単位中に、異なるクラスが同一クラス名で存在しています。

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0103I-U

メソッド' \$1' を呼び出すのに失敗しました. ' CLASS=\$2' \$3. \$4

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$3に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、メソッドのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。\$4にはエラーアドレスが設定されます。[参照] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、 “Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

## JMP0104I-U

例外が発生しました. ' \$1' \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$1が' OBJECT' の場合、発生させた例外オブジェクトと継承関係を持つクラス名を指定したUSE文を記述してください。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0105I-U

クラス' \$1' を呼び出すのに失敗しました. \$2. \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、クラスのエントリ情報が正しく指定されているか確認してください。\$3にはエラーアドレスが設定されます。[参照] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、 “Visual C++(R)のオンラインヘルプ”



---

## JMP0106I-U

USE手続き中での例外オブジェクトの発生により、USE手続きが再帰的に呼び出されました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

実行中の例外オブジェクトの誤り処理手続き中で、新たな例外オブジェクトの発生によりその誤り処理手続きが再び実行された場合、前の誤り処理手続きの実行に関しては、その誤り処理手続きの最後の文に制御を到達させてはなりません。

誤り処理手続きが再帰的に呼び出されないようにしてください。または、EXIT PROGRAM文、EXIT METHOD文またはGO TO文などを使用して、誤り処理手続きの最後の文に到達しないようにしてください。

## JMP0107I-U

ファイナライズメソッドの実行中にSTOP RUN文が実行されました。' \$1' . \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

ファイナライズメソッドまたはファイナライズメソッドから呼び出されるプログラム(\$1)に記述されたSTOP RUN文をEXIT PROGRAM文またはEXIT METHOD文に修正し、再度実行してください。

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0200I-E

ACCEPT FROM SYSIN文で入力されるべきデータがありません。

### システムの処理

入力データ域の残りの部分は空白として処理を続行します。

### プログラマの処置

- ACCEPT FROM SYSIN文で入力する件数分のデータを用意してください。
- データ件数以上にACCEPT文を実行していないか確認してください。

## JMP0201A-I

データを入力してください。

### システムの処理

応答後、処理を続行します。

### 補足

ACCEPT文によるデータの入力要求を示します。

### プログラマの処置

必要なデータを入力してください。

## JMP0202A-I

' \$1'

### システムの処理

応答後、処理を続行します。

## 補足

STOP定数文の実行中であることを示します。

## プログラマの処置

任意の1文字を入力してください。なお、\$1にはSTOP定数文で指定された定数が設定されます。

## JMP0204I-U

文の実行順序が誤っています。STM=\$1. \$2. LINE=\$3. RPT=\$4.

## システムの処理

プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

メッセージで指摘された報告書または明細報告集団に対する文の実行順序を正しく修正し、再度実行させてください。なお、\$1には文の種類 (INITIATE、GENERATE、TERMINATE)、\$2には外部プログラム名、\$3にはステートメント番号 ([COPY修飾値-]行番号. 動詞番号.) および\$4には報告書名またはデータ名 (明細報告集団名) が設定されます。

## JMP0206I-W

画面項目の大きさが論理画面の大きさを超えています。

## システムの処理

画面項目のうち、画面に入る部分だけを表示します。

## プログラマの処置

論理画面の大きさを画面項目が入る大きさに設定して、再度実行してください。

## JMP0207I-U

論理画面のサイズが大きすぎます。

## システムの処理

プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

論理画面の大きさを (桁数+1) × 行数が16250になるように設定し、再度実行してください。

## JMP0208I-E

ACCEPT文の数字項目に入力された値に誤りがあります。\$1

## システムの処理

受取りデータ項目にゼロを設定し、処理を続行します。

## プログラマの処置

ACCEPT文の数字項目に正しい値を入力するようにして、再度実行してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0209I-U

システムコンソールの読み込みまたは書き込みに失敗しました。' \$1' \$2. \$3

## システムの処理

プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

システムコンソールへの処理(\$1)でエラーが検出されました。\$2に設定されたシステムのエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。[参照] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

## JMP0211I-U

キー定義ファイル’ \$1’ のオープンに失敗しました。\$2 \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

環境変数情報@CBR\_SCR\_KEYDEFFILEに指定したキー定義ファイル(\$1)の指定を確認してください。また、\$2に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。[参考] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

## JMP0212I-W

キー定義ファイルの記述内容に誤りがあります。’ \$1’ \$2

### システムの処理

キーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなし、処理を続行します。

## プログラマの処置

\$1に設定された文字列を参考にキー定義ファイルを修正し、再度実行してください(“表3-5 [JMP0212I-Wの\\$1の内容](#)” 参照)。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-5 JMP0212I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
SECTION	セクション名の記述に誤りがあります。すべてのキーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなします。	キー定義ファイルのセクション名[COBOL.KBD]を確認してください。
KEY=キー名	キー名の記述に誤りがあります。\$1に設定されたキーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなします。	キー定義ファイル内のキー名の記述形式または指定値が有効範囲内であることを確認してください。(注)

注) 詳細については、“NetCOBOL 使用手引書”の“9.3.3 キー定義ファイルの利用”を参照してください。

## JMP0213I-W

CONTROL句に誤った文字列が指定されました。’ \$1’ \$2

### システムの処理

CONTROL句に指定された文字列を無視して、処理を続行します。

**プログラマの処置**

CONTROL句に指定できない文字列(\$1)または、CONTROL句に指定できる句(\$1)の指定方法に誤りがあります。正しい文字列を指定して、再度実行してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

**JMP0221I-U**

’\$1’ メソッドの呼出しでエラーが発生しました。 ’\$2’ \$3

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$2に設定される文字列を“表3-6 [JMP0221I-Uの\\$2の内容](#)”に示します。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表3-6 JMP0221I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマの処置
BIND	メソッドの束縛に失敗しました。	INVOKE文に指定したオブジェクト一意名とメソッド(\$1)の呼出しが正しくなるように修正してください。
NULL	NULLオブジェクトからメソッドを呼び出しています。	INVOKE文に指定されたオブジェクト参照データ項目にメソッド(\$1)を含むクラスに適合するクラスのオブジェクト参照を設定してください。

**JMP0222I-U**

オブジェクト指定子ASでエラーが発生しました。ASの右側の指定は’\$1’です。\$2

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

オブジェクト指定子ASの右側に指定したクラス名\$1またはインタフェース名\$1、またはクラス名\$1の選択指定(FACTORY OF指定またはONLY指定)が、AS指定子で指定されるオブジェクト参照一意名で参照されるオブジェクトと適合するか確認してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

**JMP0223I-U**

送出し側のオブジェクト参照データ項目と受取り側のオブジェクト参照データ項目の間で適合エラーが発生しました。\$1

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

送出し側の手続き部の見出しの復帰項目に指定したオブジェクト参照が、受取り側の復帰項目に指定したオブジェクト参照に適合するように修正してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0224I-U

プロパティメソッドの呼出しでエラーが発生しました。 ’ \$1’ ’ NULL’ \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

オブジェクトプロパティに指定したオブジェクト参照が、プロパティ名(\$1)を含むクラスまたはインタフェースに適合するように修正してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0225I-U

ANY LENGTH句指定のあるメソッド’ \$1’ の呼出しに失敗しました。 ’ \$2’ ’ \$3’ \$4

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$3に設定される文字列を“表3-7 [JMP0225I-Uの\\$3の内容](#)”に示します。\$2には、パラメタの指定を示すUSINGまたはRETURNINGが設定されます。

表3-7 JMP0225I-Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマの処置
PARAM=n	パラメタの指定に誤りがあります。呼出し先メソッド(\$1)には、ANY LENGTH句指定がありますが、呼出し元(\$4)には、ANY LENGTH句のデータ項目として許されない型のデータ項目が指定されています。n は、誤りのあるパラメタ位置を示します。	メソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように修正してください。
VL	ANY LENGTH句指定のあるメソッド呼び出しが未サポートのバージョンレベルで翻訳されています。	パラメタの指定(\$2)がUSING の場合は、呼出し元(\$4)をV40L20以降で再翻訳してください。RETURNINGの場合は、呼出し元(\$4)をV50L10以降で再翻訳してください。

## JMP0253I-U

任意日付の指定に誤りがあります。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

環境変数情報“@CBR\_JOBDATE”に指定した日付を確認してください。

## JMP0301I-E

’ \$2’ として開かれた’ \$1’ が終了時に閉じられていません。 \$3.

### システムの処理

ファイルのクローズを行わず、プログラムを終了します。

**プログラマの処置**

プログラム(\$3)を終了する前に、ファイル(\$1)に対してCLOSE文を実行するようにプログラム(\$3)を修正してください。なお、\$2にはファイル(\$1)のオープンモードが設定されます。

**JMP0302I-U**

プログラムの終了時に、\$2' ファイルでCLOSEエラーが発生しました。\$1。

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

原因を調査し、それを取り除いてください。原因については、他のメッセージが出力されていれば、それを参照してください。なお、\$1にはプログラム名が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

**JMP0310I-I/U**

' \$2' ファイルで' \$1' エラーが発生しました。' \$3' . \$4

**システムの処理**

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

**プログラマの処置**

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはOPENまたはCLOSEのどちらかの文字列が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。  
\$3に設定される文字列の意味と処置を“表3-8 [JMP0310I-I/Uの\\$3の内容\(1\)](#)”および“表3-9 [JMP0310I-I/Uの\\$3の内容\(2\)](#)”に示します。\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表3-8 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(1)

\$3	エラーの内容	プログラマの処置
ACC-METHOD または ACC-METHOD(98XX)	ファイルのアクセス方法が誤っています。(注1)	アクセス方法を正しく指定してください。
BLKED-FILE	CLOSE 文実行時のエラーなどにより使用できないファイルです。	CLOSE文の誤りを調査し、対処してください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。xxxx：16進表記	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。エラーコードが0xFFFFFFFFの場合はシフトJIS範囲外の文字の使用が保証されていない箇所でシフトJIS範囲外の文字が使用されました。プログラムを修正してください。
CRT-WINDOW	ウィンドウの作成に失敗しました。	仮想メモリ不足が原因と考えられます。原因を調査し、対処してください。(注5)
ENV-ERR	アプリケーションの動作環境が開設されていません。	Apcoordinator配下でアプリケーションが起動されているか確認してください。

ERFLD=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx: 16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。システムのエラーコードの説明、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。 (注2)
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	各接続製品のマニュアルから原因を調査し、対処してください。(注3)
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を確認してください。
FILE-LOCK	他ユーザによりファイルが排他使用されています。または他ユーザが使用しているため排他使用できません。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FONT-TABLE	フォントテーブル名の指定に誤りがあります。	フォントテーブル名を正しく指定してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコードを示します。xxxx: 16進表記	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。 (注2)
LOAD	サブプログラムのローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査してください。
LOAD=xxxxxx	他製品のローディングに失敗しました。xxxxxx: 16進表記	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。 (注6)
LOCK-FULL	同一のファイルに対し、多数のアプリケーションからOPEN要求がありました。その結果、ロックテーブルに不足が発生しました。	再実行してください。エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
NON-FIL	OUTPUT指定以外のOPEN文を実行しましたが、ファイルは存在しません。	プログラム実行前にファイルを生成しておいてください。
NON-REEL	REEL/UNIT 指定のCLOSE 文を実行しました。	プログラムを修正してください。
NOT-UNIQUE	DUPLICATES指定の記述がないにもかかわらず、割り当てられたファイルが重複キーを持つファイルです。	プログラムの指定と割り当てられたファイルの属性の矛盾を修正してください。
OPEN-MODE	ファイルのOPENモードに誤りがあります。	正しいOPENモードでファイルをオープンしてください。
READ-ONLY	読み込み専用ファイルです。またはファイル名の指定に誤りがあります。	ファイルの属性を変更してください。または正しいファイルを指定してください。
REC-MODE	レコード形式に誤りがあります。	レコード形式を正しく指定してください。
SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にOPEN文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でOPEN文を実行しないように修正してください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラー	システムの障害と考えられるため、

	ーコードを示します。xxxx : 16進表記	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注4)
THREAD=xxxxxx	スレッドの同期処理に失敗しました。xxxxxx : 16進表記	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。(注6)
TIMEOUT	タイムアウト後にOPEN文が実行されました。	タイムアウト後はOPEN文を実行しないように修正してください。
UNSUPPORT	指定された機能は未サポートです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー ファイルの属性を確認してください。または、物理的に問題がないか調査してください。(注7)</li> <li>ー マルチスレッドモードで動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出しました。各製品のマルチスレッド状況を確認してください。</li> <li>ー 翻訳オプションRCS(UCS2)を指定したプログラムの動作時に、Unicode未サポートの製品を呼び出しました。各製品のUnicodeサポート状況を確認してください。</li> <li>ー 指定したファイル、またはファイルシステムの機能範囲を確認してください。(注8)</li> </ul>
WIN-CLASS	ウィンドウクラスの登録に失敗しました。	仮想メモリ不足が原因と考えられます。原因を調査し、対処してください。(注5)

注1) ファイルのアクセス方法が誤っているとは、以下の事象を指します。

- 異なるファイル編成でアクセスしようとしている場合。または、
- 復旧の必要があるファイルをアクセスしようとしている場合。または、
- ファイルの表現形式(シフトJIS、UCS-2、UTF-8)がプログラムの動作コード系やプログラム中の定義と一致していないなど。

注2)

- 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列に“ERFLD=101”が出力された場合は、以下の事項を確認してください。
    - ー 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。
    - ー FCB制御文が2048バイト未満であるか。
    - ー 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
    - ー 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
    - ー スプール領域が不足していないか(環境変数TMPに指定したフォルダのディスク容量を確認してください)。
    - ー 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか(同時に実行している他のアプリケーションを停止して確認する/実装メモリを増設する/仮想メモリを大きくする)。
- 上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
- RDM ファイルに対してのエラーコードの詳細については、“RDB/7000”、“SymfoWARE7000”または“PowerRW+”のマニュアルを参照してください。
  - Btrieve ファイルに対してのエラーコードの詳細については、“Btrieve”または“Pervasive.SQL”のマニュアルを参照してください。お持ちでない方は、技術員(SE)に連絡してください。
  - 上記以外のファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細については“付録A



[システムのエラーコードの説明](#)”を参照してください。

注3) MeFtを使用しているときにERRCD=90xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“MeFtのオンラインマニュアル”を参照してください。

注4) RMERR=177F(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティまたは索引ファイル復旧関数を使用して、ファイルを復旧してください。

注5) 原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

注6) 詳細については、“付録A [システムのエラーコードの説明](#)”および“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”を参照してください。

注7) 行順ファイル、レコード順ファイル、相対ファイルおよび索引ファイルを使用している場合、ファイルの割当て先に通信ポート(COMn:)など、COBOLで未サポートの媒体を指定している場合が考えられます。

また、印刷ファイルを使用している場合、ファイル編成を印刷ファイルとみなす条件を満足していないため、レコード順ファイルとみなされている可能性があります。この場合、レコード順ファイルに対してローカルプリンタポート(LPTn:)や通信ポート(COMn:)が指定されることになるため、本エラーとなります。

COBOLで使用可能な媒体については、“NetCOBOL使用手引書”の“表7-1 ファイルの種類と特徴”を参照してください。また、印刷ファイルとみなす条件については、“NetCOBOL使用手引書”の“8.1.10 印刷ファイル/表示ファイルの決定方法”を参照してください。

注8) マルチスレッドまたはUnicodeでの動作の場合、以下の事項も確認してください。

- マルチスレッドモデルでの動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出していないか、各製品のマルチスレッド対応状況を確認してください。
- Unicodeアプリケーションの動作時に、Unicode未対応の製品を呼び出していないか、各製品のUnicode対応状況を確認してください。

“表3-9 [JMP0310I-I/Uの\\$3の内容\(2\)](#)”で説明する文字列が表示された場合は、プログラム中のファイルまたはレコードの定義内容と、実際に処理するファイルの属性の矛盾を取り除いてください。

表3-9 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)

\$3	エラーの内容	プログラムで確認する内容
INV-BLKSZ	ブロック長に誤りがあります。	BLOCK CONTAINS句に指定した長さ
INV-CODEST	コードセットに誤りがあります。	CODE SET句の文字符号
INV-COLSEQ	文字の大小順序（コレーティングシーケンス）に誤りがあります。	PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名
INV-DELMTR	レコードの区切り文字に誤りがあります。	ORGANIZATION 句、RECORD 句、RECORD DELIMITER句の指定内容
INV-KEYDUP	キーの重複可否(DUPLICATES)に誤りがあります。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句のDUPLICATES指定の有無
INV-KEYLEN	割り当てられたファイルのキー長がプログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の長さ
INV-KEYSTR	キーの構造に誤りがあります。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の長さ、データ項目の個数またはデータ項目のレコード内での相対位置

INV-LRECL	割り当てられたファイルのレコード長がプログラムでの定義と矛盾します。	ORGANIZATION句の指定内容 RECORD CONTAINS 句に指定したレコード長
INV-RKP	割り当てられたファイルの相対キー位置がプログラムでの定義と矛盾し	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目のレコード内での相対位置
INV-KEYRCS	割り当てられたファイルのキーのコード系がプログラムの動作コード系と矛盾します。	翻訳オプションRCSの指定内容
KEY-ATTR	割り当てられたファイルのキー属性がプログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ項目の属性
NON-ESDS	順ファイルに対して順ファイル以外が割り当てられました。	ORGANIZATION句の指定内容
NON-KSDS	索引ファイルに対して索引ファイル以外が割り当てられました。	
NON-RRDS	相対ファイルに対して相対ファイル以外が割り当てられました。	
NOT-TEXT	印刷ファイルに対してテキストファイル以外が割り当てられました。	

**JMP0311I-I/U**

’\$1’ ファイルが割り当てられていません。\$2.

**システムの処理**

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

**プログラマの処置**

必要ならファイル(\$1)を割り当てて、またはファイルを正しく指定して、再度実行してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

**JMP0313I-I/U**

’\$2’ ファイルに対する’\$1’ 文の実行で、ファイル制御域の獲得に失敗しました。

**システムの処理**

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

**プログラマの処置**

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$1には領域不足が発生したCOBOLの文(OPEN、CLOSE、START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。また、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

## JMP0320I-I/U

’ \$2’ ファイルに対する ’ \$1’ 文の実行で、入出力エラーが発生しました。 ’ \$3’ . \$4

### システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

### プログラムの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文(START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3に設定される文字列の意味と処置を“表3-10 [JMP0320I-I/Uの\\$3の内容](#)”に示します。\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表3-10 JMP0320I-I/Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラムの処置
ACC-XAP	電子フォームアプリケーションのフレームワークへのアクセスでエラーが発生しました。	XMLオプション解説書の説明を参考にエラーの原因を取り除いてください。
ALTD-LEN	REWRITE 文で、レコード長が既存のレコード長と異なります。	レコードの更新では、既存のレコードの長さを変更しないでください。
BLKED-FILE	CLOSE文実行時のエラーなどにより使用できないファイルです。	本メッセージより前にJMP0310I-Iのメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの処置に従ってください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。xxxx：16進表記	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。なお、エラーコードが0xFFFFFFFFの場合、シフトJIS 範囲外の文字の使用が保証されていない箇所でシフトJIS 範囲外の文字が使用されています。プログラムを修正してください。
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	各接続製品のマニュアルから原因を調査し、対処してください。（注1）
EXCEED-LEN	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えないように修正してください。
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を調査してください。
FDBK=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx：16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。システムのエラーコードの説明、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。（注2）

FONT	システム上に存在しないフォントを指定して出力しました。または指定されたフォントテーブルが開けません。	指定したフォント名を確認し、システム上に必要なフォントをインストールしてください。または、正しいフォントテーブル名を指定しているか確認してください。
FOVL	オーバーレイ定義が格納されているフォルダの指定、またはオーバーレイ定義が正しくありません。	正しいオーバーレイ定義が格納されているフォルダを指定しているか、初期化ファイルを確認してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコードを示します。xxxx：16進表記	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。 (注2)
INV-CHAR	行順ファイルまたは印刷ファイルのレコードに不当な文字があります。	データの内容を調査してください。
INV-LEN	WRITE/REWRITE 文でレコード長が正しくありません。	書き出すレコードの長さを修正してください。
KEY-CHANGE	更新要求時のキー値がそのレコードを読み込んだときの値と異なります。	更新するレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
LOAD	サブシステムのローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査してください。
NO-TRANS	コードセットに変換できない文字があります。	データの内容を調査してください。
OVER-RECLN	行レコードで書き出そうとした印字データ領域の長さが最大長を超えています。	書き出そうとするオーダの長さが決められた最大長(注5)の範囲内になるようにレコード長を修正してください。
	入力したレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	入力するレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長の範囲になるように修正してください。
PHYSIC-ERR	物理エラーが発生しました。	ファイルの内容（物理的構成要因）を確認してください。
READ-ONLY	読み込み専用ファイルです。	ファイルの属性を変更してください。
REC-LOCK	他ユーザによりレコードが排他使用されています。または、レコードを排他的に使用できません。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
R. KEY-ERR	乱呼出または動的呼出しにおいて RELATIVE KEY の内容が PICTURE 句での定義と矛盾します。	RELATIVE KEYの最大値が格納できるように PICTURE 句によるデータ項目の大きさの指定を修正ください。
	RELATIVE KEY項目の値が0です。	RELATIVE KEY項目の値を0以外にしてください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。xxxx：16進表記	システムの障害と考えられるため資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注3)
RRN>R. KEY	順処理の READ 文または WRITE 文で相対レコード番号が RELATIVE KEY 項目の最大値を超えました。	そのファイルの最大の相対レコード番号が入るように、相対キー項目の大きさを修正してください。

SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にREAD文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でREAD文を実行しないように修正してください。
THREAD=xxxxxx	スレッドの同期処理に失敗しました。xxxxxx：16進表記	設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除いてください。 (注2)
TIMEOUT	タイムアウト後にREADまたはWRITE文が実行されました。	タイムアウト後はREADまたはWRITE文を実行しないように修正してください。

注1) MeFtを使用しているときにERRCD=90xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“MeFtのオンラインマニュアル”を参照してください。

注2)

- 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列にFDBK=101が出力された場合は、以下の事項を確認してください。

- 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。
- FCB制御文が2048バイト未満であるか。
- 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
- 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
- スプール領域が不足していないか。(以下のフォルダのディスク容量を確認してください。)

＜Windows(R) 98およびWindows(R) Meの場合＞

Windows(R) インストールフォルダ¥Spool¥Printers

＜Windows NT(R)、およびWindows(R) 2000、Windows(R) XPおよびWindows Server(TM) 2003の場合＞

Windows(R) インストールフォルダ¥System32¥Spool¥Printers

- 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか。(同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。実装メモリを確認し、必要であれば増設してください。仮想メモリを確認し、必要であれば大きくしてください。)

上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

- RDM ファイルに対してのエラーコードの詳細については、“RDB/7000”、“SymfoWARE7000”または“PowerRW+”のマニュアルを参照してください。
- Btrieve ファイルに対してのエラーコードの詳細については、“Btrieve”または“Pervasive.SQL”のマニュアルを参照してください。お持ちでない方は、技術員(SE)に連絡してください。
- 上記以外のファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細については、“付録A [システムのエラーコードの説明](#)”を参照してください。

注3) RMERR=177F(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティまたは索引ファイル復旧関数を使用して、ファイルを復旧してください。

注4) 詳細については、“付録A [システムのエラーコードの説明](#)”および“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”を参照してください。

注5) 行レコードで書き出せるレコードの長さは、あくまでも目安ですが、以下の式で計算することができます。

32Kbyte>出力レコード長+2+100×基本項目数

なお、報告書作成機能において、報告集団記述項に日本語項目を指定した場合、本メッセージが出力される可能性があります。報告書作成機能では、日本語項目を含む報告書の実行結果は保証されません。日本語項目を指定しないようにプログラムを修正してください。

### JMP0321I-U

’ \$1’ ファイルに対するREAD文の実行で、ファイル終了条件が発生しました。 \$2

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

- READ文にAT END指定を記述して、ファイル終了時の処置を行ってください。
- 入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。

なお、\$1にはファイル終了条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0322I-U

’ \$2’ ファイルに対する’ \$1’ 文の実行で、キーの順序誤りが発生しました。 \$3

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

- \$1がWRITEであれば、キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。
- \$1がREWRITEまたはDELETEであれば、直前のREAD文で読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。

なお、\$2には無効キー条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。  
\$3にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0323I-U

’ \$2’ ファイルに対する’ \$1’ 文の実行で、重複キーによる誤りが発生しました。 \$3

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

キーの値が重複しないようにプログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITEまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0324I-U

’ \$2’ ファイルに対する’ \$1’ 文の実行で、求めるレコードが見つかりません。 \$3

#### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

#### プログラマの処置

- 存在しないレコードを処理しないように、プログラムを修正してください。
- FILE STATUS句またはINVALID KEY句を使用して、存在しないレコードへのアクセスをプログラムでチェックするように、プログラムを修正してください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(READ、REWRITE、STARTまたはDELETEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

---

## JMP0325I-I/U

’ \$2’ ファイルに対する ’ \$1’ 文の実行で、ファイルの最大サイズを超えました。または、ディスクの空き容量が不足しました。 \$3

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

### プログラマの処置

ディスクの空き容量が不足している場合は、空き容量を増やし、再度実行してください。  
ファイルの最大サイズを超えている場合は、“NetCOBOL使用手引書”の“表7-1 ファイルの種類と特徴”を参照し、ファイルを分割するなど最大サイズを超えないようにしてください。  
なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITE、READ、STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0326I-U

’ \$2’ ファイルに対する ’ \$1’ 文の実行で、NO-SPACE状態になりました。 \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

ディスクの空き容量またはファイルのスペース量を増やし、再度実行してください。なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE、REWRITE、READ、STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0327I-U

’ \$2’ ファイルに対する ’ \$1’ 文の実行で、無効キー条件が発生しました。 ’ \$3’ . \$4

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$3が’RRN>R. KEY’であるなら、順処理のレコード書出しで、相対レコード番号がRELATIVE KEY項目で持つことのできる最大値を超えないように、プログラムを修正してください。または、INVALID KEY句を記述して、無効キー条件が発生したときの処理を行うようにプログラムを修正してください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$4にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0328I-I/U

’ \$1’ ファイルの ’ WRITE’ 文で、CHARACTER TYPE句のDEPENDING ONに指定された値が、許容値を超えています。 \$2

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

**プログラマの処置**

DEPENDING ONに指定された値が許容値を超えないように、プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

**JMP0330I-I/U**

’ \$2’ ファイルの ’ \$1’ 文で、実行順序の誤りが発生しました。 ’ \$3’ . \$4

**システムの処理**

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句が指定されている場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

**プログラマの処置**

\$3で設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文 (OPEN、CLOSE、START、READ、WRITE、REWRITEまたはDELETEのどれか)が、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3に設定される文字列の意味を“表3-11 [JMP0330I-I/Uの\\$3の内容](#)”に示します。\$4にはエラーアドレスが設定されます。

表3-11 JMP0330I-I/Uの\$3の内容

\$3	エラーの原因
AT-END	ファイル終了条件発生後、さらにREAD文が実行されました。
DUPL-OPEN	すでに開かれたファイルに対してOPEN文が実行されました。
LOCKED	LOCK指定のCLOSE 文実行後そのファイルを開こうとしました。
NO-READ	直前が成功したREAD文でありません。
NOSPACE	NO-SPACE状態発生後、さらにWRITE 文が実行されました。
NOT-OPENED	開かれていないファイルに対して入出力文が実行されました。
OPEN-MODE	OPENモードが正しくありません。
POS-ERROR	ファイル位置指示子が不定です。

**JMP0331I-U**

’ \$1’ ファイルでスレッドの同期処理に失敗しました。 ’ \$2’ . \$3

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$2に設定される文字列の意味と処置を“表3-12 [JMP0331I-Uの\\$2の内容](#)”に示します。なお、\$1にはファイル名、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表3-12 JMP0331I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。XXXX：16進表記	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。



## JMP0340I-U

’ \$1’ ファイルに対する制御レコードの形式に誤りがあります. ’ \$2’ . \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$2に設定される文字列とエラーが検出された制御レコード中の内容の関係を“表3-13 [JMP0340I-Uの\\$2の内容](#)”に示します。\$3にはエラーアドレスが設定されます。なお、RSV(システム使用)域に空白が設定されていない場合もこのエラーメッセージが出力される場合があります。RSV域に空白が設定されているか確認してください。

表3-13 JMP0340I-Uの\$2の内容

\$2 (文字列)	エラーが検出されたフィールドの内容
BIND	とじしろ方向
CMOD	複写修正モジュール名
C-NO	複写数
DOC-INFO	文書名識別情報
FCB	FCB 名
FID	フォーマット定義体名
FORM	用紙コード
FOVL	フォームオーバーレイモジュール名
F-NO	フォームオーバーレイのフィールド数
HOP	用紙供給口
ID	制御レコードID
LEN	制御レコード長
LOAD	ダイナミックロード
MODE	制御モード
OFST	印刷原点位置
OSTK	オフセットスタック
PFRM	印刷形式
POST	印刷面位置付け
PRTA	印字禁止領域
RSV	予約域 (空白でない)
R-NO	フォームオーバーレイ焼付け回数
SIDE	印刷面指定
SIZE	用紙サイズ
STK	用紙排出口
S-NO	複写修正開始番号
T-NO	複写修正用文字配列テーブル番号
WDTH	とじしろ幅
XTB	複写修正用文字配列テーブル名

## JMP0350I-U

USE手続き中のファイルに対する入出力文の実行により、USE手続きが再帰的に呼び出されました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

誤り処理手続き中の入出力文の実行により、その誤り処理手続きが再び実行された場合、前の実行に対しては、その誤り処理手続きの最後の文に制御を到達させてはなりません。

## JMP0360I-U

表示ファイルのアクセス中に、システムのエラーが発生しました。CODE=\$1.

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定した宛先の内容を確認してください。宛先の内容が正しければ、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員 (SE) に連絡してください。なお、\$1にはエラーの詳細を示す内部コードが設定されます。

## JMP0362I-U

’ \$2’ ファイルに対する ’ \$1’ 文の実行で、レコードの生成処理のエラーが発生しました。CODE=\$3. \$4

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$3に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはエラーが発生したCOBOLの文 (OPEN、CLOSE、WRITEのいずれか) が、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$4にはエラーアドレスが設定されます。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “8. 6. 5 実行時エラーについて”

## JMP0363I-U

’ \$1’ ファイルに対するSYMBOLIC DESTINATION句の指定に誤りがあります。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定した宛先名を正しく指定し、再実行してください。なお、\$1にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

## JMP0364I-I/U

’ \$2’ ファイルに対するREADまたはWRITE文で、\$1句の指定に誤りがあります。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$1句 (指定誤りのあった句) に指定したデータ項目の内容を正しく指定し、再実行してください。なお、\$2には、アクセス名またはファイル名が設定されます。

## JMP0365I-U

同じ名前を持つフォントが複数存在します。 ’ \$1’ \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

\$1に示すフォントが複数通知されました。以下の対処を行った後、再度実行してください。

- コントロールパネルのフォントを選択し、フォント一覧を参照して、同じ名前のフォントが複数存在していたら、不要なフォントを削除してください。

＜ Windows(R) 98およびWindows(R) Meの場合＞

プリンタドライバのプロパティを表示し、[フォント] シート内の [TrueTypeフォント] ボックスの指定内容が、“TrueTypeをビットマップソフトフォントとしてダウンロード” がチェックされている場合、“TrueTypeをグラフィックとして印刷” をチェックしてください。

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0370I-U

SQL文を実行するための動的作業域の獲得に失敗しました。 \$1

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)” の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合” を参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0371I-U

SQL文を実行するための環境情報ファイルに誤りがあります。 ’ \$1’ \$2

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

環境情報ファイル内の指定を正しく設定し、再度実行してください。なお、\$1には、エラーの原因を示す文字列が設定されます(“表3-14 [JMP0371I-Uの\\$1の内容](#)” 参照)。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-14 JMP0371I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容
@ODBC_Inf	ODBC情報ファイルが指定されていないか存在しません。
@SQL_DATASRC	データソース名が指定されていません。
@SQL_SERVER	サーバ名が指定されていません。
@SQL_USERID	ユーザIDが指定されていません。
@SQL_PASSWORD	パスワードが指定されていません。

## JMP0372I-U

SQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。 ’ \$1’ \$2 \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(“表3-15 [JMP0372I-Uの\\$1の内容](#)” 参照)。なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

表3-15 JMP0372I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
LOAD	ランタイムライブラリのローディングに失敗しました。	\$2に設定された詳細コード（注）の内容を参考に対処してください。
FREE	ランタイムライブラリの解放に失敗しました。	\$2に設定された詳細コード（注）の内容を参考に対処してください。

注）詳細については、“付録A [システムのエラーコードの説明](#)” および“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”を参照してください。

**JMP0373I-U**

サーバ名’\$3’に対する’\$2’文の実行で’\$1’エラーが発生しました。 ’\$4’ \$5

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

\$4に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはクライアントインタフェース種別が、\$2にはエラーが発生したSQL文が、\$3にはエラーの発生したサーバ名が設定されます。\$5にはエラーアドレスが設定されます。

エラーコードの意味については、各クライアントインタフェースのエラーコードマニュアルの説明を参照してください。

**JMP0374I-U**

認識できないSQL文が現れたため、処理が続行できません。 \$1

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

使用できないSQL文を取り除き、再度実行してください。使用できないSQL文については、各データベース環境の制限事項または注意事項を参考にしてください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

**JMP0375I-U**

SQL文を実行するための環境情報ファイルにしたがって、SQL文を実行することができません。 ’\$1’ \$2

**システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

**プログラマの処置**

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(“表3-16 [JMP0375I-Uの\\$1の内容](#)” 参照)。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-16 JMP0375I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラムの処置
INV-OBJECT-MODULE	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲に OBJECT_INSTANCE が指定された動作環境でV40 以前のコンパイラで翻訳されたプログラムが実行されました。	V40 以前のコンパイラで翻訳されたプログラムをV50 以降のコンパイラで再翻訳してください。
INV-SCOPE-THREAD	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲に THREAD が指定された動作環境でクラス定義に記述された埋込みSQL 文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、プログラム定義に記述された埋込みSQL 文だけ実行するようにプログラムを変更してください。
INV-SCOPE-OBJECT-INSTANCE	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲に OBJECT_INSTANCE が指定された動作環境でプログラム定義に記述された埋込みSQL 文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、クラス定義に記述された埋込みSQL 文だけ実行するようにプログラムを変更してください。

## JMP0376I-U

Symfoware連携において、マルチスレッドでSQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。 ’ \$1’

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(“表3-17 [JMP0376I-Uの\\$1の内容](#)” 参照)。

表3-17 JMP0376I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラムの処置
NOT-INSTALLED	Symfoware クライアントが正しくインストールされていません。	Symfoware クライアントが正しくインストールされていることを確認してください。
ENVIRONMENT-ERROR: Symfoware のエラーメッセージ	Symfoware の動作エラーです。	Symfoware のエラーメッセージを同時に出力しますので、Symfoware/RDB メッセージリファレンスを参照して対処してください。

## JMP0392I-U

ネットワークデータベース機能を使用することはできません。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

- OSIV系システム固有機能を使用しないように、プログラムを修正してください。

- 分散開発支援機能を使用する場合は、デバッグ配下で再度実行してください。

## JMP0400I-U

アクセス環境が正しくありません。 SYS=\$1, FILE=\$2, BLK=\$3, \$4=\$5

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員 (SE) に連絡してください。なお、\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

- \$1:  
システムから通知されたエラー情報または文字列NONE (システムからの情報がない場合)
- \$2:  
システム情報
- \$3:  
エラーを検出した制御ブロックアドレス
- \$4:  
ERRまたはREQ
- \$5:  
エラー内部情報として次の情報が設定されます。
- \$4がERRの場合:  
検出箇所
- \$4がREQの場合:  
処理コード

## JMP0410I-U

JMPCINT2を使用している場合、応用プログラムにおいて、STOP RUN文を実行してはなりません。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

応用プログラム中のSTOP RUN文をEXIT PROGRAM文に置き換えてください。

## JMP0420I-I

ウィンドウハンドルの獲得に失敗しました。 ' \$1' . \$2

### システムの処理

復帰値に-1を返却します。

### プログラマの処置

エラーの内容を取り除き、再度実行してください。なお、\$1には、エラーの原因を示す文字列が設定されます。（“表3-18 [JMP0420I-Iの\\$1の内容](#)” 参照）

表3-18 JMP0420I-Iの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
ACC-ERROR	ウィンドウハンドル獲得処理でエラーが発生しました。	\$2に設定されたMeFtの通知コードから原因を調査し、対処してください。 (注)

INV-ENV	動作環境に誤りがあります。	COBOL の動作環境を確認してください。
INV-KIND	指定されたファイル識別名に対応するファイルの種類に誤りがあります。	表示ファイルのファイル識別名を指定してください。
NON-FILE	指定されたファイル識別名に対応するファイルが存在しません。	ファイル識別名を正しく指定してください。または、ファイルのオープンが成功しているか確認してください。

注) 詳細については、“MeFtのオンラインマニュアル”を参照してください。

## JMP0600I-I/U

SORTまたはMERGE文を実行するために十分な仮想メモリがありませんでした。

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

## JMP0601I-I/U

SORT文またはMERGE文でエラーが発生しました。\$1. \$2

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはファイル情報(アクセス名またはファイル名)または詳細情報が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。“表3-19 [JMP0601I-I/Uの\\$1の内容](#)”に詳細情報の値、意味および処置を示します。

表3-19 JMP0601I-I/Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラムの処置
50	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう、環境を確認してください。(注)
51	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
52	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう、環境を確認してください。(注)
53	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
54		
56		
59		
62		

100	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
101	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	
102	ソート対象レコードの出力処理で何らかのエラーが発生しました。	
103	マージ対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	
110	ソート対象レコードのアドレスが取得できませんでした。	
111	レコード長に誤りがあります。	レコード長がCOBOL の仕様に合っているか確認してください。
112	ソート対象レコードの入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
113		
114	マージ対象ファイル中のレコードがソートされていません。	マージ対象ファイル中のレコードをソートしてからマージするようにプログラムを修正してください。
208	整列併合用ファイルのオープンでエラーが発生しました。	テンポラリファイルを大きくしてください。プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
212	整列併合用ファイルの容量が足りません。	ファイルの容量を確保できるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
214	整列併合用ファイルの作成ができません。	ファイルの作成ができるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
224	整列併合用ファイルへの書込み中にエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
250	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
その他	PowerSORT でエラーが発生しました。(PowerSORT 使用時)	PowerSORT のオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。

注) 対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

## JMP0608I-I/U

RELEASE文は、出力手続き中で実行できません。\$1

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。



---

## JMP0609I-I/U

RETURN文は、入力手続き中で実行できません。\$1

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0612I-I/U

RETURN文は、ファイル終了条件発生後に実行できません。\$1

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

ファイル終了条件発生後にRETURN文を実行しないように、プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0613I-I/U

整列併合用ライブラリがロードできません。\$1 \$2 \$3

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1には整列併合用ライブラリのファイル名、\$2にはエラーコードが設定されます。[参照] “付録A [システムのエラーコードの説明](#)”、“Visual C++(R)のオンラインヘルプ”

ただし、\$1および\$2が出力されていない場合、PowerSORTが正しくインストールされているか、確認してください。\$3にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0614I-I/U

SORT文またはMERGE文は入力および出力手続き中で実行できません。\$1

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

SORT文またはMERGE文に記述された入力および出力手続きの処理中にSORT文またはMERGE文を実行しないように、プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0615I-I/U

SORTまたはMERGE文でスレッドの同期処理に失敗しました。 ’ \$1’ . \$2

### システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

### プログラムの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定される文字列の意味と処置を“表3-20 [JMP0615I-I/Uの\\$1の内容](#)”に示します。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3-20 JMP0615I-I/Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラムの処置
ABANDONED	あるスレッドのプログラムが異常終了したため、ロックの所有権が正しく解放されませんでした。	直前に異常終了しているスレッドがあれば、その原因を調査し、対処してください。
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。	システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。

## JMP0616I-U

スレッドの同期処理に失敗しました。\$1

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

スレッドの同期処理に誤りを検出しました。エラーが頻発するようなら、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員 (SE) に連絡してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

## JMP0701I-U

GCBが壊れています。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域 (GCB) が破壊されています。以下の項目について確認し、プログラムを修正して再度実行してください。

- 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目を参照している場合、それらの参照範囲を超えていないかチェックしてください。
- CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているかをチェックしてください (長さなど)。
- ファイルを使っている場合、誤った長さでレコードを扱っていないかチェックしてください (たとえば、可変長の入力ファイルで実際のレコード長ではなく最大長を使ってSPACEクリアなどの処理をした場合など)。

---

## JMP0702I-U

LIAが壊れています。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(LIA)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

## JMP0703I-U

RCBが壊れています。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(RCB)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

## JMP0704I-U

デバッグ機能の実行に必要な内部テーブルが壊れています。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

JMP0701I-Uを参照してください。

## JMP0705I-W

’\$1’ 機能を実行するための動的作業域の確保ができません。

### システムの処理

’\$1’ 機能をキャンセルし、プログラムの処理を続行します。

### プログラマの処置

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$1にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

## JMP0724I-W

’\$1’ ファイルがオープンできなかったため、デバッグ情報’\$2’ の出力ができません。

### システムの処理

’\$2’ 情報の出力を中止して処理を続行します。

### プログラマの処置

ファイルの割当てが正しいか確認してください。なお、\$1にはアクセス名が、\$2にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

## JMP0725I-W

デバッグ情報を出力するためのファイルがオープンできなかったため、デバッグ情報’\$1’ の出

力ができません。

### システムの処理

’ \$1 ’ 情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

### プログラムの処置

ファイルを生成する領域が十分あるか確認してください。なお、\$1にはデバッグ情報の機能名が設定されます。

## JMP0771I-W

環境変数\$1の値に誤りがあります。

### システムの処理

環境変数(\$1)が指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

### プログラムの処置

環境変数(\$1)に正しい値を指定して、再度実行してください。

[参照] “NetCOBOL 使用手引書” の “5. 4. 1. 2 @CBR\_ATTACH\_TOOL (プログラムからデバッガまたは診断機能を起動する指定)”、 “5. 4. 1. 12 @CBR\_JUSTINTIME\_DEBUG (異常終了時にデバッガまたは診断機能を使って調査を行う指定)”

## JMP0772I-W

\$1の起動に失敗しました。 ’ \$2 ’ . ’ \$3 ’

### システムの処理

環境変数情報@CBR\_ATTACH\_TOOLまたは環境変数情報@CBR\_JUSTINTIME\_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

### プログラムの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはツールを示す文字列 (COBOL DEBUGGERまたはCOBOL ERROR REPORT)、\$3にはエラーの原因に対する詳細情報が設定されます。\$2および\$3に設定される文字列を “表3-21 [JMP0772I-Wの\\$2および\\$3の内容](#)” に示します。

表3-21 JMP0772I-Wの\$2および\$3の内容

\$2	エラーの内容	詳細情報(\$3)	プログラムの処置
API ERROR	システムエラーを検出しました。	API=API名, CODE=エラーコード (16進表記)	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
LOGON FAILED	ログオンに失敗しました。	DOMAIN=ドメイン名, USER=ユーザ名, PASSWORD=パスワード	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
SERVICE NOT RUN	サービスが起動されていません。	NAME=サービス名	コントロールパネルからサービスを開き、サービス(\$3)を起動してください。
SERVICE BUSY	サービスがビジー状態です。	NAME=サービス名	再度、実行してください。エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。

## JMP0773I-W

COBOLデバッガからの応答がなくタイムアウトが発生しました。

### システムの処理

COBOLデバッガを終了後、環境変数情報@CBR\_ATTACH\_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

### プログラマの処置

起動されたCOBOLデバッガからの要求に対する応答がありません。再度実行して、COBOLデバッガからの要求に応答してください。

## JMP0774I-W

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続に失敗しました。\$1。\$2

### システムの処理

環境変数@CBR\_ATTACH\_TOOLまたは@CBR\_JUSTINTIME\_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

### プログラマの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定される情報の意味と処置を“表3-22 [JMP0774I-Wの\\$1および\\$2の内容](#)”に示します。なお、\$2には詳細情報が設定されます。

表3-22 JMP0774I-Wの\$1および\$2の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
0	リモートデバッガの資産が正しくインストールされていません。	リモートデバッガをインストールしてください。
1	winsock1.1(TCP/IP)がサポートされていません。	winsock1.1を利用できる環境下で再度実行してください。
2	環境変数@CBR_ATTACH_TOOLまたは@CBR_JUSTINTIME_DEBUGに指定した調査手段に誤りがあります。	— リモートデバッグでは、\$2をサポートしていません。サポートしている形式を指定してください。\$2には環境変数に指定された文字列が設定されます。
10	環境変数@CBR_ATTACH_TOOLまたは@CBR_JUSTINTIME_DEBUGに指定した接続先の指定に誤りがあります。	— 接続するクライアントのホスト名にスペルミスがないことを確認してください。
11		— 接続するクライアントのホスト名が定義されていることを確認してください。
12		— ホスト名を解決したIPアドレスの定義に誤りがないことを確認してください。
20	クライアントとの接続に失敗しました。	— IPアドレスの指定形式に間違いがないことを確認してください。
		ポート番号に設定可能範囲外の値が設定されています。1024～65535の範囲で設定してください。
		— 接続先に指定したコンピュータでクライアント側のリモートデバッガコネクタが動作中であることを確認してください。
		— クライアント側のリモートデバッガコネクタの接続制限で接続が許可されていることを確認してください。

21	リモートデバッガのバージョンが適切ではありません。	クライアントとサーバで、デバッガのバージョンを適切に合わせてください。
----	---------------------------	-------------------------------------

**JMP0775I-W**

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続が切断されました。\$1

**システムの処理**

環境変数@CBR\_ATTACH\_TOOLまたは@CBR\_JUSTINTIME\_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

**プログラマの処置**

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定される情報の意味と処置を“表3-23 [JMP0775I-Wの\\$1の内容](#)”に示します。

表3-23 JMP0775I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマの処置
0	パケットが改竄された可能性があるため、クライアントとの接続を切断しました。	ネットワーク管理者に相談し、セキュアな環境を確立してください。
1	クライアントとの接続が切断されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クライアント側のリモートデバッガコネクタの接続制限により、接続が拒否されていないことを確認してください。</li> <li>クライアントのアプリケーションが終了したことにより、接続が切断されました。クライアント側のリモートデバッガコネクタが起動されていることを確認してください。</li> <li>ネットワークが使用可能な状態であるかを確認してください。</li> </ul>

**JMP0776I-W**

リモートデバッグにおいて、' \$1 ' の ' \$2 ' でエラーが発生しました。\$3。\$4

**システムの処理**

環境変数@CBR\_ATTACH\_TOOLまたは@CBR\_JUSTINTIME\_DEBUGが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

**プログラマの処置**

再度実行してください。再度実行しても発生する場合は、技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: モジュール名  
 \$2: API名  
 \$3: エラーコード(10進表記)  
 \$4: エラーコードの説明

**JMP0810I-E/U**

' \$1 ' メソッドの\$2指定のパラメタに誤りがあります。\$3 \$4 LINE=\$5

## システムの処理

重大度コードがEの場合、パラメタをそのまま使用し、処理を続行します。  
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$5には、以下の情報が設定されます。

- \$1:  
パラメタに誤りのあるメソッド名
- \$2:  
パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- \$3:  
USING指定のパラメタエラーの詳細  
' NUMBER' :  
パラメタの個数に誤りがあります。  
PARAMETER=n:  
n番目に指定されているパラメタに誤りがあります。
- \$4:  
外部プログラム名またはメソッド名
- \$5:  
ステートメント番号(行情報[COPY修飾値-]行番号. 動詞番号)

## JMP0811I-E/U

' \$1' プログラムの呼出し規約またはパラメタが一致していません。\$2. LINE=\$3.

## システムの処理

重大度コードがEの場合、呼出し規約またはパラメタをそのまま使用し、処理を続行します。  
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

メッセージで指摘されたプログラム(\$1)を正しい呼出し規約およびパラメタで呼び出すようにプログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$2には外部プログラム名またはメソッド名が、\$3にはステートメント番号(行情報[COPY修飾値-]行番号. 動詞番号)が設定されます。

## JMP0812I-E/U

CALL文のパラメタが一致していません。' \$1' \$2. LINE=\$3.

## システムの処理

重大度コードがEの場合、呼出し規約またはパラメタをそのまま使用し、処理を続行します。  
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

## プログラマの処置

\$1で指摘された内容をもとに、“表3-24 [JMP0812I-E/Uの\\$1の内容](#)”に示す処置を施し、再度実行してください。

表3-24 JMP0812I-E/Uの\$1の内容

\$1	処置
USING PARAMETER NUMBER	USING に指定したパラメタの個数を一致させてください。
USING nTH PARAMETER (nTH = 1ST, 2ND, 3RD, 4TH...)	USING に指定した n番目のパラメタの大きさを一致させてください。
RETURNING PARAMETER	RETURNING に指定したパラメタの大きさを一致させてください。

なお、\$2～\$3には以下の情報が設定されます。

\$2: プログラム名または、クラス名とメソッド名

\$3: ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値- ]行番号. 動詞番号)

### JMP0820I-E/U

添字または指標の値が範囲外を指しています。 \$1. LINE=\$2. OPD=\$3 (\$4)

#### システムの処理

重大度コードがEの場合、添字または指標の値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

#### プログラムの処置

メッセージで指摘された添字または指標に正しい値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

\$1:

外部プログラム名またはメソッド名

\$2:

ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値- ]行番号. 動詞番号)

\$3:

データ名

\$4:

データ名の次元数

### JMP0821I-E/U

参照可能範囲外の部分参照を行っています。 \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

#### システムの処理

重大度コードがEの場合、誤ったままの値で部分参照を行い、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

#### プログラムの処置

メッセージで指摘されたデータ名の部分参照を、その範囲を超えないようにプログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

\$1:

外部プログラム名またはメソッド名

\$2:

ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値- ]行番号. 動詞番号)

\$3:

データ名

### JMP0822I-E/U

ODO句の目的語の値が許容範囲を超えています。 \$1. LINE=\$2. OPD=\$3. ODO=\$4.

#### システムの処理

重大度コードがEの場合、OCCURS DEPENDING ON句の目的語の値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

#### プログラムの処置

メッセージで指摘されたOCCURS DEPENDING ON句の目的語に正しい値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。



- 
- \$1:  
外部プログラム名またはメソッド名
- \$2:  
ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値-]行番号.動詞番号)
- \$3:  
データ名
- \$4:  
OD0句の目的語の名前

## JMP0828I-E/U

属性と異なる形式のデータが格納されています。\$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

### システムの処理

重大度コードがEの場合、誤った値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

メッセージで指摘されたオペランドに正しい値を設定し、再度実行してください。

- \$1:  
外部プログラム名またはメソッド名
- \$2:  
ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値-]行番号.動詞番号)
- \$3:  
データ名

## JMP0829I-E/U

除数にゼロが指定されています。\$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

### システムの処理

重大度コードがEの場合、除数のゼロをそのまま使用し、処理を続行します。ゼロ除算実行の結果は、システムに依存します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

メッセージで指摘されたオペランドに除数がゼロにならないように値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1:  
外部プログラム名またはメソッド名
- \$2:  
ステートメント番号(行情報[ COPY修飾値-]行番号.動詞番号)
- \$3:  
データ名
- ただし、除数が算術式または関数の値である場合、オペランド名は設定されません。

## JMP0899I-U

プログラム実行中、論理エラーが発生しました。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

プログラムの誤りによりプログラムまたは動的領域が破壊されている可能性があります。

JMP0701I-Uのプログラムの処置に従って、原因を調査してください。

### JMP0901I-E

関数' \$1' の引数の値の絶対値が計算可能範囲を超えています。 \$2

#### システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

#### プログラムの処置

引数の値の絶対値が計算可能範囲内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名 (SINまたはCOS) が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0902I-E

関数' \$1' の引数の値の絶対値が関数の定義域外です。 \$2

#### システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

#### プログラムの処置

引数の値の絶対値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名 (ASINまたはACOS) が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0903I-E

関数' \$1' の引数の値が関数の定義域外です。 \$2

#### システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

#### プログラムの処置

引数の値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名 (LOG、LOG10、ANNUITY、FACTORIAL、RANDOM、SORT、TAN) が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0904I-E

関数' \$1' の引数の値に誤りがあります。 \$2

#### システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

#### プログラムの処置

引数の値を各関数の条件に合うように設定し、再度実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名が設定されます。\$2にはエラーアドレスが設定されます。

### JMP0905I-E

関数ANNUITYでゼロ除算が発生しました。 \$1

#### システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

#### プログラムの処置

ゼロ除算が起こらないように引数の値を設定し、再度実行してください。なお、\$1にはエラーアドレスが設定されます。

---

## JMP0930I-E/U

特殊クラス' \$1' の' \$2' メソッドでエラーが発生しました。 SCODE=\$3 \$4 \$5 \$6

### システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

\$3のSCODE形式のエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1～\$6には以下の情報が設定されます。

\$1:

特殊クラス名

\$2:

メソッド名

\$3:

COMから通知されたSCODE形式のエラーコード

\$4:

以下場合があります。

EXCEPTION CODE=XXXX (16進表記):

COMサーバから通知された、COMサーバが定義したエラーコード

EXCEPTION SCODE=XXXXXXXX (16進表記):

COMサーバから通知されたSCODE形式のエラーコード

\$5:

以下場合があります。

DESCRIPTION=メッセージ:

COMサーバから通知された詳細なエラーメッセージ

\$6:

エラーアドレス

\$4、\$5は、COMサーバでエラーが発生した場合だけ設定されます。ただし、COMサーバが詳細なエラーメッセージを通知しない場合、\$5は設定されません。[参照] “付録B [SCODE形式のエラーコードの説明](#)”、COMサーバを含むアプリケーションのオンラインヘルプまたはマニュアル

## JMP0931I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、特殊クラス' \$1' の' \$2' メソッドを実行できません。

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラマの処置

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処を行い、メソッド(\$2)の実行環境を領域獲得可能な環境にして、再度実行してください。

## JMP0932I-E/U

特殊クラス' \$1' の' \$2' メソッドの\$3指定のパラメタに誤りがあります。 \$4 \$5

### システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$2)のパラメタを特殊クラスで使用可能な属性で、呼び出すメソッドのインタフェースに適合するように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

\$1:  
特殊クラス名

\$2:  
パラメタに誤りのあるメソッド名

\$3:  
パラメタの指定 (USINGまたはRETURNING)

\$4:  
USING指定のパラメタエラーの詳細  
' NUMBER' :  
パラメタの個数に誤りがあります。  
PARAMETER=n:  
n番目に指定されているパラメタに誤りがあります。

\$5:  
エラーアドレス

### JMP0933I-E/U

特殊クラス' \$1' の' \$2' メソッドの\$3指定のパラメタの属性変換に失敗しました。 \$4 \$5

### システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。  
重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

COMサーバのメソッド(\$2)のパラメタの属性に対応したパラメタを指定するように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$5には以下の情報が設定されます。[参照]COMサーバを含むアプリケーションのオンラインヘルプまたはマニュアル

\$1:  
特殊クラス名

\$2:  
パラメタの属性に誤りのあるメソッド名

\$3:  
パラメタの指定 (USINGまたはRETURNING)

\$4:  
USING指定のパラメタエラーの詳細  
PARAMETER=n:  
n番目に指定されているパラメタの属性に誤りがあります。

\$5:  
エラーアドレス

### JMP0934I-U

特殊クラス' \$1' の' \$2' メソッドで、配列の要素の指定方法に矛盾があります。 \$3

### システムの処理

プログラムを異常終了させます。

### プログラムの処置

特殊クラス(\$1)のオブジェクトに対するメソッド(\$2)呼出しのパラメタに、実際の配列と矛盾しない要素を指定するようにプログラムを修正し、再度実行してください。

---

要素指定の矛盾には、以下の原因が考えられます。

- 指定した次元の数に誤りがある。
- 指定した次元のサイズに誤りがある。

なお、\$3にはエラーアドレスが設定されます。

## **JMP0935I-U**

特殊クラス '\$1' のオブジェクトに登録するデータ項目数が最大登録データ項目数を超過しています。\$2

### **システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

### **プログラマの処置**

登録データ項目数が最大登録データ項目数を超過ないようにプログラムを修正し、再度実行してください。

- 特殊クラス (\$1) のオブジェクト作成時に指定する最大登録データ項目数を、登録するデータ項目数に合わせて大きくする。
- 特殊クラス (\$1) のオブジェクトに登録するデータ項目数を減らす。

なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

## **JMP0936I-U**

特殊クラス '\$1' をマルチスレッドモードで使用できない環境です。\$2

### **システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

### **プログラマの処置**

COMを使用したクラスが使用可能になるようにプログラムまたは動作環境を修正し、再度実行してください。なお、\$2にはエラーアドレスが設定されます。

1. COMをマルチスレッドでできるように動作環境を確認してください。
2. COBOLプログラムを翻訳オプションTHREAD (SINGLE) を指定して翻訳し、シングルスレッドモードで実行してください。

## **JMP0937I-U**

仮想メモリが不足しているため、特殊クラス '\$1' の操作ができません。\$2

### **システムの処理**

プログラムを異常終了させます。

### **プログラマの処置**

原因および対処については、“注意事項” の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し対処を行い、プログラムを再度実行してください。なお、\$1には特殊クラス名、\$2にはエラーアドレスが設定されます。



---

## 第4章 診断機能のメッセージ

---

ここでは、診断機能が出力するメッセージについて説明します。  
メッセージの形式を以下に示します。  
メッセージ番号   メッセージ本文

### メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMWnnnnI-W

JMW:

COBOL診断機能のメッセージであることを示します。

nnnn:

メッセージの通し番号を示します。

I:

オペレータの対応が不要であることを示します。

W:

重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味を“表4-1 [診断機能メッセージの重大度コードの意味](#)”に示します。

表4-1 診断機能メッセージの重大度コードの意味

重大度コード	レベル	意 味
I (INFORMATION)	通知メッセージ	レポートファイルを作成した場合に出力する情報です
W (WARNING)	軽度のエラー	レポートファイルは作成されますが、実行結果が利用者の意図どおりかを確認する必要があります。
E (ERROR)	中程度のエラー	レポートファイルは作成されません。
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	実行を中断し、異常終了します。

### メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

以降では、診断機能メッセージの本文の内容、診断機能の処理およびプログラマの処置を以下の形式で説明します。

メッセージ番号

メッセージ本文<sup>(注)</sup>

### 診断機能の処理

診断機能の処理

### プログラマの処置

プログラマが行うべき対処方法

---

注

メッセージ本文中の“\$n”は、可変情報を示すパラメタです。実際に出力されるメッセージでは、このパラメタの部分は、ファイル名などを表す文字列で置き換えられます。

#### JMW0001I-I

’\$1’でエラーが発生しました。 ’\$2’ . ’\$3’ . ’\$4’ . ’\$5’

##### 診断機能の処理

アプリケーションの状態をレポートファイルに出力します。

##### プログラマの処置

レポートファイルを参照して、エラーの原因を取り除いてください。\$1はエラーが発生したアプリケーションファイル名、\$2はエラーの発生時刻、\$3はエラーの種類、\$4はエラーコード、\$5は作成したレポートファイル名を示します。なお、エラーの種類には、’APPLICATION ERROR’ (アプリケーションエラー) または ’COBOL RUN-TIME MESSAGE’ (実行時メッセージ) を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

#### JMW0002I-E

’\$1’でエラーが発生しました。 ’\$2’ . ’\$3’ . ’\$4’ . レポートファイルの出力に失敗しました。 ’\$5’

##### 診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

##### プログラマの処置

出力されなかった原因を取り除いてください。\$1はエラーが発生したアプリケーションファイル名、\$2はエラーの発生時刻、\$3はエラーの種類、\$4はエラーコード、\$5はエラーの原因を示します。なお、エラーの種類には、’APPLICATION ERROR’ (アプリケーションエラー) または ’COBOL RUN-TIME MESSAGE’ (実行時メッセージ) を出力します。エラーコードには、アプリケーションエラーの場合には例外コードと例外コードを示す文字列を、実行時メッセージの場合には実行時メッセージ本文を出力します。

出力されなかった原因が以下であるときは、起動パラメタ “-r” でアクセス権のあるフォルダを指定して、再度実行してください。

’ SYSTEM ERROR=0x00000005(アクセスが拒否されました。) ’

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “18.6.3.4 起動パラメタ”

#### JMW0003I-W

診断機能の起動パラメタの指定に誤りがあります。 ’\$1’

##### 診断機能の処理

指定された起動パラメタ(\$1)を無視して、処理を続行します。

##### プログラマの処置

正しい起動パラメタを指定してください。

#### JMW0004I-W

診断機能でコンピュータ ’\$1’ へのエラー検知メッセージの出力に失敗しました。 ’\$2’

##### 診断機能の処理

自コンピュータにメッセージボックスまたはイベントログを出力し、処理を続行します。



---

## プログラマの処置

環境変数情報@CBR\_JUSTINTIME\_DEBUGに指定した出力先(\$2)とコンピュータ名(\$1)を確認してください。なお、出力先には、'MESSAGE BOX' (メッセージボックス)または'EVENT LOG' (イベントログ)を出力します。

- コンピュータ名の指定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、正しいコンピュータ名を指定してください。
- 指定したコンピュータがアクティブになっているか確認し、アクティブになっていない場合は、電源を入れてください。
- 指定したコンピュータの起動OSがWindows NT(R)、Windows(R) 2000、Windows(R) XPまたはWindows Server(TM) 2003か確認してください。イベントログ出力機能を持たないOSには出力できません。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “5. 4. 1. 12 @CBR\_JUSTINTIME\_DEBUG (異常終了時にデバッグまたは診断機能を使って調査を行う指定)”

## JMW00051-U

診断機能でエラーが発生しました。' \$1 '

### 診断機能の処理

エラーを検知したアプリケーションを異常終了させ、診断機能は異常終了します。

### プログラマの処置

\$1が'INTERNAL ERROR=xxxx'の場合は、技術員(SE)に連絡してください。なお、xxxxは内部エラーコード(10進数)を示します。

\$1が'OUT-MEMORY'の場合は、以下のような場合が考えられます。

- 実装メモリが少ない。  
→ 必要であれば増設してください。
- 仮想メモリが少ない。  
→ 必要であれば大きくしてください。
- 同時に実行している他のアプリケーションがメモリを使用している。  
→ 同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。

\$1が'SYSTEM ERROR=xxxx'の場合は、システムのエラーコード(16進数)とエラーコードの意味を示します。システムのエラーコードの説明から原因を調査し、対処してください。

## JMW00061-U

プロセスへのアタッチに失敗しました:\$1(\$2)

### 診断機能の処理

アプリケーションの処理を続行させ、診断機能は異常終了します。

### プログラマの処置

応答しなくなったアプリケーションに対して診断機能を起動した場合には、起動パラメタ“-p”で指定したプロセスIDが正しいか確認してください。それ以外の場合には、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。\$2はシステムのエラーコード(16進数)、\$1はエラーコードの意味を示します。

## JMW00071-U

エラーの診断中にプロセスが終了しました。

### 診断機能の処理

メッセージを出力して、診断機能は異常終了します。

### プログラマの処置

資料を採取して技術員 (SE) に連絡してください。

### JMW0008I-I

応答のないアプリケーションを診断しました。 ’ \$1’

### 診断機能の処理

アプリケーションの状態をレポートファイルに出力します。

### プログラマの処置

レポートファイルを参照して、エラーの原因を調査してください。\$1は作成したレポートファイル名を示します。

### JMW0009I-E

応答のないアプリケーションを診断しましたが、レポートファイルの出力に失敗しました。 ’ \$1’

### 診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

### プログラマの処置

出力されなかった原因を取り除いてください。\$1は以下の形式の文字列です。なお、システムのエラーコードは16進数です。

’ SYSTEM ERROR=システムのエラーコード(エラーコードの意味) ’

出力されなかった原因が以下であるときは、起動パラメタ “-t” でアクセス権のあるフォルダを指定して、再度実行してください。

’ SYSTEM ERROR=0x00000005(アクセスが拒否されました。) ’

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “18.6.3.4 起動パラメタ”

### JMW0010I-I

領域の書き込みを監視しました。 ’ \$1’

### 診断機能の処理

書き込みの履歴をレポートファイルに出力します。

### プログラマの処置

レポートファイルを参照して、領域破壊の原因を取り除いてください。\$1は作成したレポートファイル名を示します。

### JMW0011I-E

領域の書き込みを監視しましたが、レポートファイルの出力に失敗しました。 ’ \$1’

### 診断機能の処理

メッセージを出力して、処理を続行します。

### プログラマの処置

出力されなかった原因を取り除いてください。\$1は以下の形式の文字列です。なお、システムのエラーコードは16進数です。

’ SYSTEM ERROR=システムのエラーコード(エラーコードの意味) ’

出力されなかった原因が以下であるときは、起動パラメタ “-t” でアクセス権のあるフォルダを指定して、再度実行してください。

’ SYSTEM ERROR=0x00000005(アクセスが拒否されました。) ’

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “18.6.3.4 起動パラメタ”

---

## JMW0012I-U

監視領域のアドレスが指定されていません。

### 診断機能の処理

メッセージを出力して、診断機能は異常終了します。

### プログラマの処置

環境変数情報@CBR\_ATTACH\_TOOLに起動パラメタ“-w”で監視領域アドレスを指定して、再度実行してください。

[参照] “NetCOBOL使用手引書”の“18.6.3.3 領域破壊が発生するアプリケーションに対する起動”



## 付録A システムのエラーコードの説明

ここでは、システムのエラーコードの内容を説明します。

表A-1 システムのエラーコードの内容

コード	意 味	プログラムの処置
2 (0x02)	指定されたファイルを見つけることができません。	実行環境情報@CBR_SCR_KEYDEFFILE の指定が正しいか確認してください。
4 (0x04)	ファイルをアクセスできません。	実行環境を確認してください。
5 (0x05)	アクセスできません。	ファイルの割当てが正しいか確認してください。
8 (0x08)	利用可能な格納域が不足しているためコマンドを処理できません。	以下の項目を確認してください。 － 同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。 － 実装メモリを確認し、必要であれば増設してください。 － 仮想メモリを確認し、必要であれば増設してください。
15 (0x0F)	無効なドライブ名です。	ドライブ名が正しいか確認してください。
19 (0x13)	ディスクは書き込み禁止です。	ディスクを確認してください。
20 (0x14)	ディスクユニットに不良があります。	ディスクユニットが破壊されていないかを確認してください。
21 (0x15)	ドライブの準備ができていません。	ドライブを確認してください。
34 (0x22)	間違ったディスクがドライブ内にあります。	ディスクを確認してください。
53 (0x35)	ネットワークパスが見つかりません。	指定したネットワークパス名を確認してください。
59 (0x3B)	予期しないネットワークエラーが発生しました。	ネットワークの環境が正しく設定されているかを確認してください。
86 (0x56)	指定されたネットワークパスワードに誤りがあります。	指定したネットワークパスワードを確認してください。
126 (0x7E)	指定されたモジュールが見つかりませんでした。	呼ばれるプログラムのDLL が、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。 － 環境変数PATHに指定されたフォルダ － 呼び出し元のプログラムのあるフォルダ － カレントフォルダ
127 (0x7F)	指定されたプロシージャが見つかりませんでした。	呼ばれるプログラムのDLL 中に呼ばれるプログラムの名前がEXPORTされているか確認してください。（注1）
206 (0xCE)	ファイル名が長すぎます。	ファイル名を確認してください。

1157 (0x485)	このアプリケーションの実行に必要なライブラリファイルのうち、1つが見つかりません。	呼ばれるプログラムのDLL が、以下のいずれかのフォルダに存在することを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>— 環境変数PATHに指定されたフォルダ</li> <li>— 呼び出し元のプログラムのあるフォルダ</li> <li>— カレントフォルダ</li> </ul>
1785 (0x6F9)	フォーマットがされていない可能性があります。	ディスクがフォーマットされているか確認してください。

#### 注1

DUMPBINコマンドを使用することで確認することができます。

[参照] “NetCOBOL使用手引書” の “J. 1 DUMPBINコマンド”

上記以外のエラーコードの説明および詳細については、“Visual C++ (R) のオンラインヘルプ”を参照してください。

## 付録B SCODE形式のエラーコードの説明

ここでは、SCODE形式のエラーコードの内容を説明します。

表B-1 SCODE形式のエラーコードの内容

コード	意 味	プログラムの処置
0x80004002 (-2147467262)	CREATE-OBJECT メソッドに指定したCOM サーバがオートメーション機能をサポートしていません。	NetCOBOL はオートメーション機能を使用してCOMサーバにアクセスしています。オートメーション機能をサポートしているCOM サーバを指定してください。
0x8001ffff (-2147352577)	予期しないエラーが発生しました。	COM サーバが正常に動作することを確認し、再度実行してください。
0x80020003 (-2147352573)	COM サーバが定義していないメソッドを呼び出そうとしたか、読み取り専用のプロパティの値を設定しようとしています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80020005 (-2147352571)	メソッドの引数の属性が誤っています。	
0x80020006 (-2147352570)	COM サーバが定義していないメソッドを呼び出そうとしています。	COM サーバに定義されたメソッドを呼び出すようにプログラムを修正してください。
0x80020009 (-2147352567)	メソッド実行中にCOM サーバがエラーを検出しました。	COM サーバが設定したエラーの詳細な情報を参照して、対処してください。 このコードがシステムから通知された場合、*COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトの例外処理を定義してあるときは、GET-ERROR-TYPEメソッドで” 0（例外発生）” が返却され、GET-SCODEメソッドではCOM サーバが通知したコードが返却されます。 *COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトの例外処理が定義されていないときは、このコードとエラーの詳細な情報がエラーメッセージ中に表示されます。（注1）
0x8002000a (-2147352566)	メソッドの引数の属性が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x8002000b (-2147352565)	*COM-ARRAYクラスオブジェクトの配列またはCOMサーバが使用している配列の次元または要素の指定方法が誤っています。	実際の配列に矛盾しない要素を指定するようにプログラムを修正してください。

0x8002000d (-2147352563)	*COM-ARRAYクラスオブジェクトの配列が、COM サーバによって使用されているため更新または削除できません。	COM サーバが配列を解放してから更新または削除するようにプログラムを修正してください。
0x8002000e (-2147352562)	メソッドの引数の数が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80030005 (-2147287035)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルにアクセスできません。	ファイルがプログラム中で指定したパスにあるかを確認してください。
0x8004000e (-2147221490)	COMOBJ.DLL が古いためOLE2.DLLを初期化できません。	COM サーバが正しくインストールされているかを確認してください。
0x80040111 (-2147221231)	COMサーバクラスのオブジェクトの作成に失敗しました。	COM サーバが正しくインストールされている、かつ、正しく動作することを確認してください。
0x80040151 (-2147221167)	レジストリにキーを書き込めませんでした。	実行環境のレジストリが壊れている可能性があります。レジストリファイルの内容を確認してください。
0x80040154 (-2147221164)	CREATE-OBJECT メソッドで指定したCOM サーバがレジストリに登録されていません。	COM サーバが正しくインストールされているかを確認してください。
0x800401e0 (-2147221024)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルか、そのファイルに関連付けられたCOM サーバにネットワーク経由で接続できませんでした。	ネットワークが正しく接続されているかを確認してください。
0x800401e4 (-2147221020)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイル名が誤っています。	正しいファイル名を指定するようにプログラムを修正してください。
0x800401e5 (-2147221019)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルか、そのファイルに関連付けられたCOM サーバが見つかりません。	実行環境に指定したファイルとそのファイルに関連付けられたCOM サーバが存在することを確認してください。
0x800401e7 (-2147221017)	GET-OBJECTメソッドで指定したファイルに関連付けられたCOM サーバはオートメーション機能をサポートしていません。	NetCOBOL はオートメーション機能を使用してCOM サーバにアクセスしています。オートメーション機能をサポートしているCOM サーバを使用してください。
0x800401f3 (-2147221005)	CREATE-OBJECT で指定したプログラムIDが誤っています。	CREATE-OBJECT メソッドで正しいプログラムIDを指定するように、プログラムを修正してください。
0x8004E002 (-2147164158)	トランザクションはアボートされました。	これはエラーではありません。Commitメソッドが呼び出された時に、トランザクション全体がアボートされたことを例外として通知しています。



0x8004E004 (-2147164156)	このオブジェクトは関連付けられたコンテキストを持っていません。	このオブジェクトは、コンテキストオブジェクトのCreateInstanceメソッドを使って作成されたものではない可能性があります。
0x8004E005 (-2147164155)	指定されたクラスは、トランザクションコンポーネントとして登録されていません。	指定したクラスをMTSに登録してください。
0x8004E00C (-2147164148)	引数に指定したロールは存在しません。	正しいロールを指定してください。
0x8007000E (-2147024882)	サーバアプリケーション実行のための仮想メモリが不足しているため、この処理を実行できません。	原因を調査し、対処後、再度実行してください。（注2）
0x80070057 (-2147024809)	メソッドの引数の数または属性が誤っています。	呼び出すメソッドのインタフェースに適合するようにプログラムを修正してください。
0x80080005 (-2146959355)	サーバアプリケーションの実行に失敗しました。	COM サーバが正しくインストールされ、かつ、正しく動作することを確認してください。

#### 注1

\*COM-EXCEPTIONクラスの例外オブジェクトについては、“NetCOBOL使用手引書”の“26. 6. 2 \*COM-EXCEPTIONクラス”を参照してください。

#### 注2

原因および対処については、“付録D [注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

この表の中に記述された「メソッド」は、COMサーバのプロパティの参照/設定処理を含みます。上記以外のコードが通知されたときには、COMサーバが独自に割り当てたSCODEが通知されたか、システムの障害の可能性があります。COMサーバが正常に動作していることを確認した上でCOMサーバの開発元もしくは技術員(SE)にお問い合わせください。



## 付録C COBOLファイルシステムのエラーコードの説明

ここでは、COBOLファイルシステムのエラーコードの内容を説明します。

表C-1 COBOLファイルシステムのエラーコードの内容

コード(16進数)		意味	プログラムの処置
上位	下位		
10		ファイルの終りより後を、またはファイルの先頭より前への入力要求がありました。	入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。
21		主キーの順序に誤りがあります。	キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。または、直前に読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
22		重複キー禁止のファイルで、新しいレコードのキーが重複しています。	キーの値が重複しないようにしてください。
23		指定されたレコードは存在しません。	存在しないレコードを操作しないでください。
24		ディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
24	01	相対レコードファイルへの任意の書込みでレコード番号の指定が無効(ゼロ)でした。	相対レコード番号に値を設定してください。
24	02	ファイル作成限界以上のレコードの追加書込みが発生しました。	ファイルを分割し、一つのファイルが最大サイズを超えないようにしてください。
30	mm 11 01	COBOLファイルシステムがオペレーティングシステムのエラーを検出しました。	mm 11に設定されたOSから返却されたエラーに対処してください。
30	01 01	メモリ領域獲得に失敗しました。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ（スワップ）を増やしてください。
30	03 0A	レコードが1件もありません。	レコードが格納されている状態にしてください。
30	04 0A	ファイルが多過ぎます。	技術員(SE)に連絡してください。
30	05 0A	ハンドルに誤りがあります。	技術員(SE)に連絡してください。
35		指定されたファイル名のファイルが存在しません。	操作するファイル名、パス名が存在するか確認してください。
37		ファイル属性に一致しないアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
37	07	読み込みのみ許可されたファイルに書込みのオープン命令が発行されました。	ファイルへのアクセス権を確認してください。
38		ロック付きでクローズされたファイルがオープンできません。	ロック付きクローズ後に、ファイルを操作しないでください。
39		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。

39	01	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
39	02	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
39	03	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
39	04	最小ブロック長が一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	05	最大ブロック長が一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	06	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員 (SE) に連絡してください。
39	07	コードセットが一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	08	照合順序が一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	09	レコード形式が一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	0A	埋め込み文字が一致しません。	技術員 (SE) に連絡してください。
39	30~7F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
43		最後の読み込みでエラーが発生しました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	01	オープン処理を矛盾するアクセスがありました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	04	ファイル編成と矛盾するアクセスがありました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	05	ファイルトランケート命令が他のユーザと矛盾します。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	06	サーバセッションが拒否されました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	07	読み込み専用ファイルに対して無効なアクセスがありました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	08	サポート外のアクセスがありました。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	09	メッセージ領域が小さ過ぎます。	技術員 (SE) に連絡してください。
90	10	セッションIDが無効です。	技術員 (SE) に連絡してください。
92		ファイルがクローズされていません。	技術員 (SE) に連絡してください。
92	01	既にオープンされているファイルに対してオープンが発行されました。	技術員 (SE) に連絡してください。
93		ファイルが有効ではありません。	技術員 (SE) に連絡してください。
93	02	他のファイル結合子により、ファイルがロックされています。	他のファイル結合子から、レコードのロック状態を解除してください。

93	06	ファイルが既に存在するため、オープンできません。	ファイルが存在しないディレクトリやファイル名を利用してください。
94		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。
94	21	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
94	22	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
94	23	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
94	24	最小ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	25	最大ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	26	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員(SE)に連絡してください。
94	27	コードセットが一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	28	照合順序が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	29	レコード形式が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	2A	埋め込み文字が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	30～5F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
94	60	ファイルをオープンするためのメモリが不足しています。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ(スワップ)を増やしてください。
94	61	ファイルを生成するためのディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
94	64	指定したファイル名に誤りがあります。	ファイル名に無効な文字が含まれていないか確認してください。
96		ファイル位置が未定義です。	技術員(SE)に連絡してください。
97	01	行順ファイルのレコードに不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	02	不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	03	最小レコード長より短いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	04	最大レコード長より長いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	07	レコード長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
98		ファイルの構造が無効です。	技術員(SE)に連絡してください。
99		他のファイル結合子により、レコードがロックされています。	他のファイル結合子から、レコードのロック状態を解除してください。



---

## 付録D 注意事項

### COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足の発生する原因として、以下のような場合が考えられます。このような場合は、動作環境の見直しおよびプログラム構造の見直しを行ってください。

#### [環境の問題]

- 実装メモリが少ない。  
→ 必要であれば増設してください。
- 仮想メモリが少ない。  
→ 必要であれば大きくしてください。
- 同時に実行している他のアプリケーションがメモリ領域を使用している。  
→ 同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。

#### [プログラム構造の問題]

- 実行単位で同時にオープンしているファイルの数が多い。
- 実行単位でEXTERNAL句を指定したデータおよびファイルの宣言が多い。
- 実行単位で同時に使用しているオブジェクト(インスタンス)の数が多いなど。

#### [その他]

- 実行したアプリケーションがメモリ領域を破壊している。  
→ 対話型デバッガ、CHECK機能およびメモリチェック機能などを使用して、領域破壊の原因を調査し、プログラムを修正してください。  
[参照] “NetCOBOL使用手引書”の“第19章 対話型デバッガの使い方”、“18.2 CHECK機能の使い方”、“18.5 メモリチェック機能の使い方”
-





---

# 索引

記号	
@CBR_ClassInfFile.....	17
@CBR_InstanceBlock.....	17
C	
COBOLファイルシステムのエラーコード.....	69
COBOLファイルシステムのエラーコードの内容...	69
E	
ERRORLEVEL.....	5
I	
I .....	3, 5, 57
J	
JMN.....	3
JMP.....	5
JMW.....	57
P	
PROGRAM-STATUS.....	6
S	
S .....	3
SCODE形式のエラーコード.....	65
SCODE形式のエラーコードの内容.....	65
W	
W .....	5, 57
WINCOBおよび翻訳コマンドのメッセージ.....	1
あ	
アクセス名.....	6

え	
エラーアドレス .....	7
か	
仮想メモリ不足 .....	74
き	
行番号 .....	3
し	
システムのエラーコード .....	63
システムの処理 .....	6
実行時メッセージ .....	5
診断機能の処理 .....	58
診断機能のメッセージ .....	57
す	
スレッドID .....	6
ひ	
日付と時刻 .....	5
ふ	
ファイル名 .....	6
プログラマの処置 .....	6, 58
プロセスID .....	6
ほ	
翻訳時メッセージ .....	3
翻訳時メッセージの重大度の意味 .....	3
め	
メッセージ番号 .....	3, 5, 57
メッセージ本文 .....	3, 6, 57

---

